

「第2次与謝野町総合計画・後期基本計画」

令和6年度 まちづくりアンケート報告書

令和6年12月

与謝野町企画財政課

<目次>

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の方法	2
3	回答状況	2
II	調査の結果	3
1	基本的事項	4
2	まちづくりへの住民の参加について	5
	(1) 自分自身が参加したことがあること	5
	(2) 自分自身が参加しなかった(できなかった)理由	9
3	行動・意識について	13
	(1) 町内消費行動	13
	(2) 子育て意向	13
	(3) ところのよりどころ	14
4	与謝野町の住みごころについて	15
	(1) 定住意向	15
	(2) 与謝野町の良いところ	18
	(3) 与謝野町のまちづくりで気になるところ	22
	(4) 与謝野町の良いところと気になるところ	26
5	与謝野町のまちづくりと将来の姿について	27
	(1) 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度	27
	(2) 特に力を入れるべき施策	29
6	若者世代に見る与謝野町のまちづくりと将来の姿について	33
7	与謝野町のデジタル化等の取り組みについて	44
8	自由意見	47

I 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度から令和8年度までのまちづくりの指針として「第2次与謝野町総合計画・後期基本計画」を策定しました。20年先、30年先を見据えた未来志向のまちづくりをさらに進めていくにあたり、住民のみなさんが今、どのように感じていらっしゃるのか把握することを目的に、無作為に選んだ2,000人の方を対象にアンケートを実施したものです。

2 調査の方法

(1) 調査対象

15歳以上の町民から2,000人を無作為抽出

(2) 調査方法

郵送による配布

- ・アンケート用紙の回収
- ・アンケート用紙のQRコードからWEB回答

(3) 調査期間

令和6年8月9日～令和6年9月10日

3 回答状況

配布数	2,000件
回答数	651件（インターネット回答101件含む）
回答率	32.6%

（参考）令和5年度調査

配布数	2,000件
回答数	643件（インターネット回答94件含む）
回答率	32.2%

（参考）令和4年度調査

配布数	2,000件
回答数	633件（インターネット回答6件含む）
回答率	31.7%

Ⅱ 調査の結果

1 基本的事項

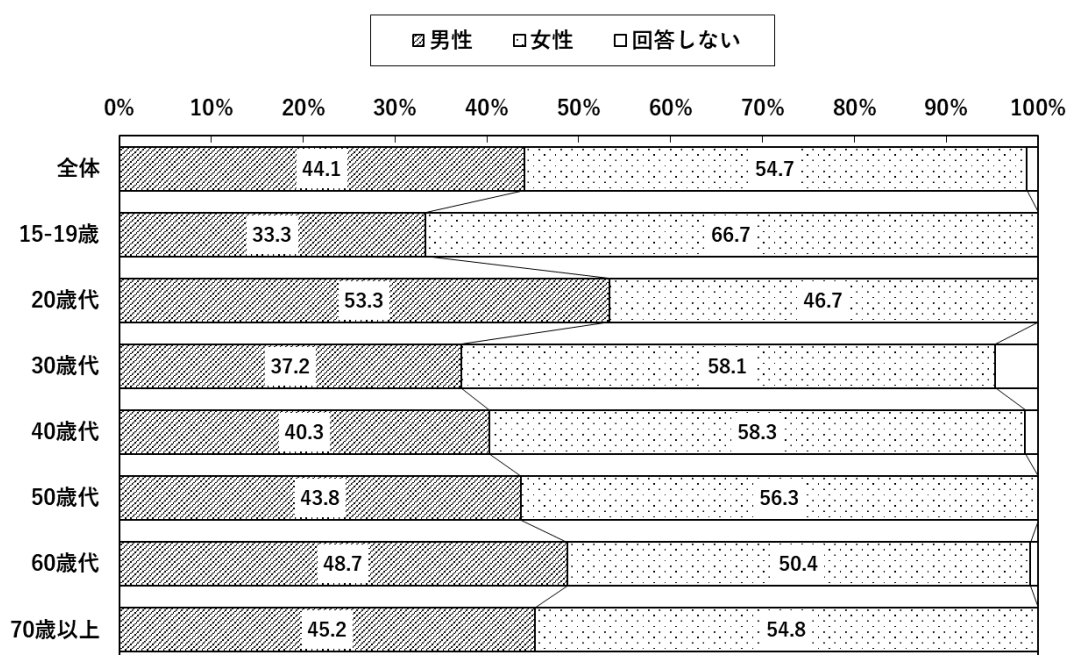
※ 基本的事項については、アンケート項目についてクロス集計を行うために実施をしているものであり、今年度から性別と年齢のみ掲載します。

(1) 性別

問1 あなたの性別は、どちらですか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

男性が44.1%、女性が54.7%となっています。

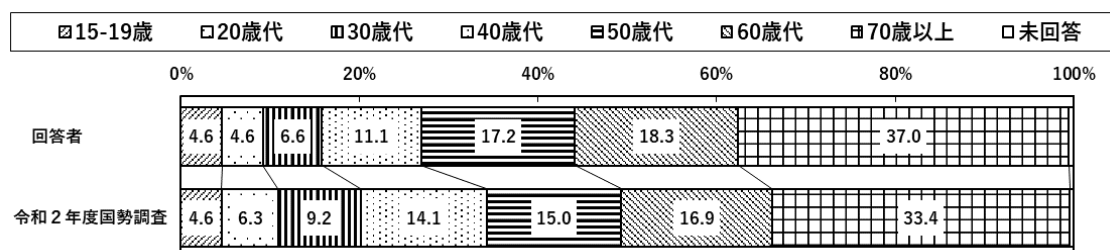


(2) 年齢

問2 あなたの年齢は、どれにあたりますか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

15歳～19歳が4.6%、20歳代が4.6%、30歳代が6.6%、40歳代が11.1%、50歳代が17.2%、60歳代が18.3%、70歳以上が37.0%となっています。



2 まちづくりへの住民の参加について

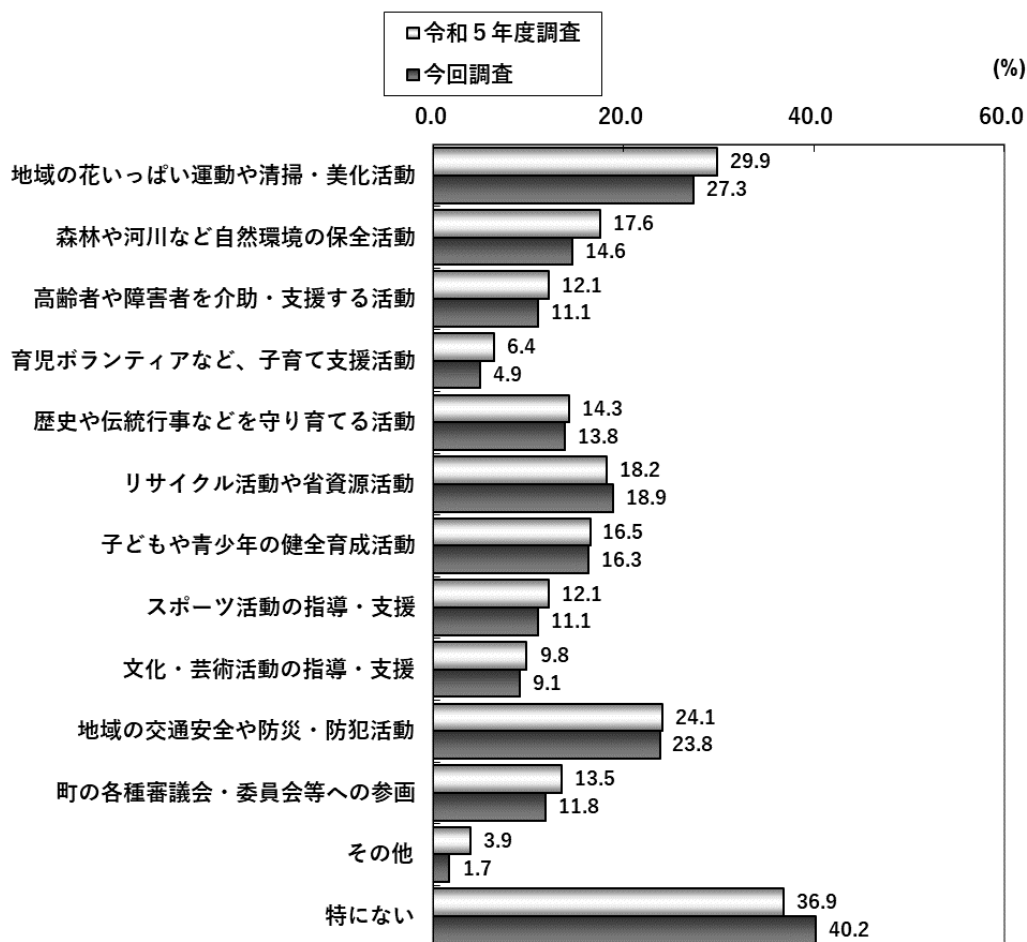
(1) 自分自身が参加したことがあること

問5 あなたは、「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。《参加したことがあるものすべてを選んでください》

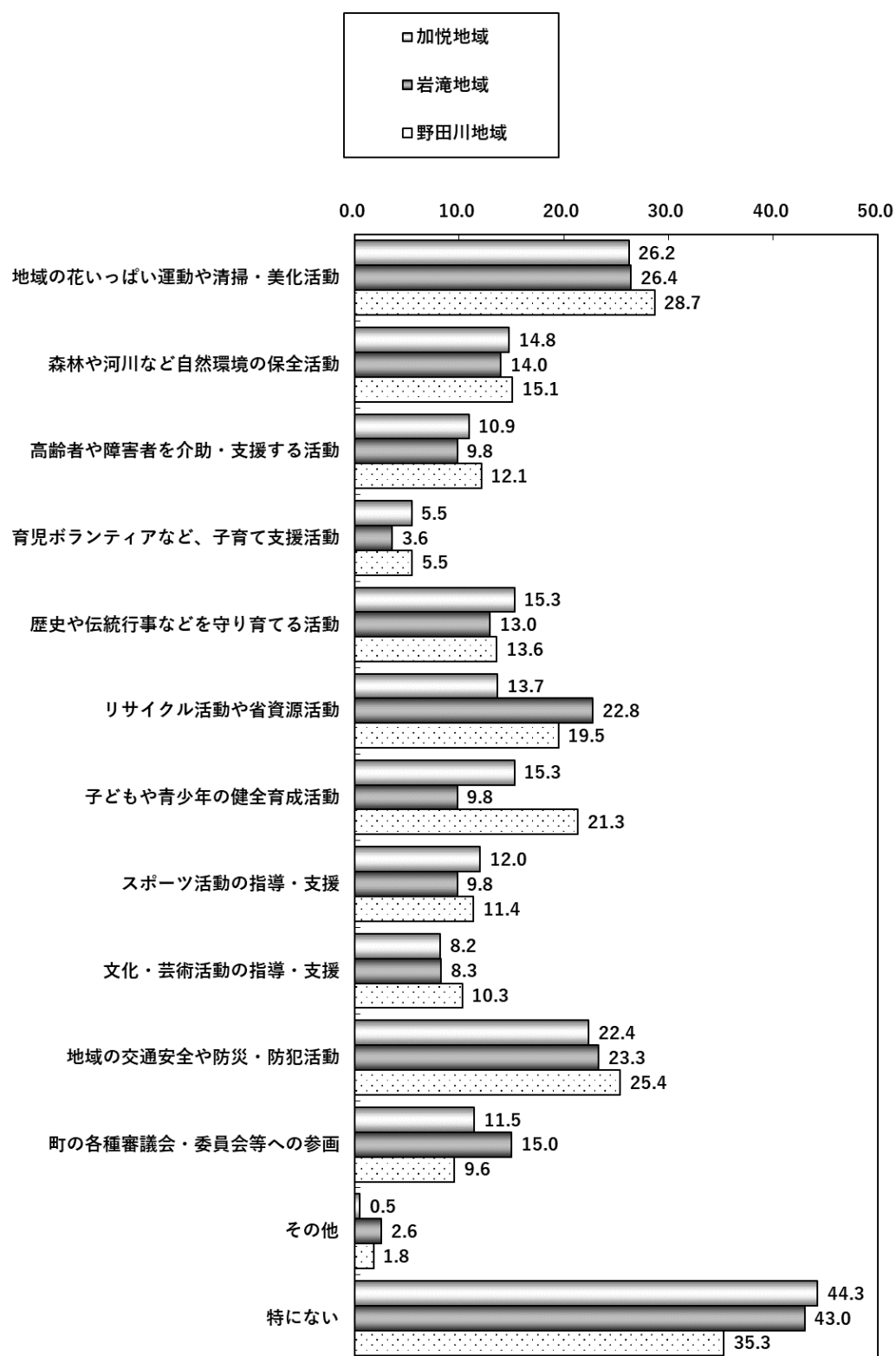
全体数=651

参加したことがある活動の中では、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」がもっとも多く27.3%、ついで「地域の交通安全や防災・防犯活動」23.8%、「リサイクル活動や省資源活動」18.9%となっており、順位の傾向は前回の調査結果と変わっていません。

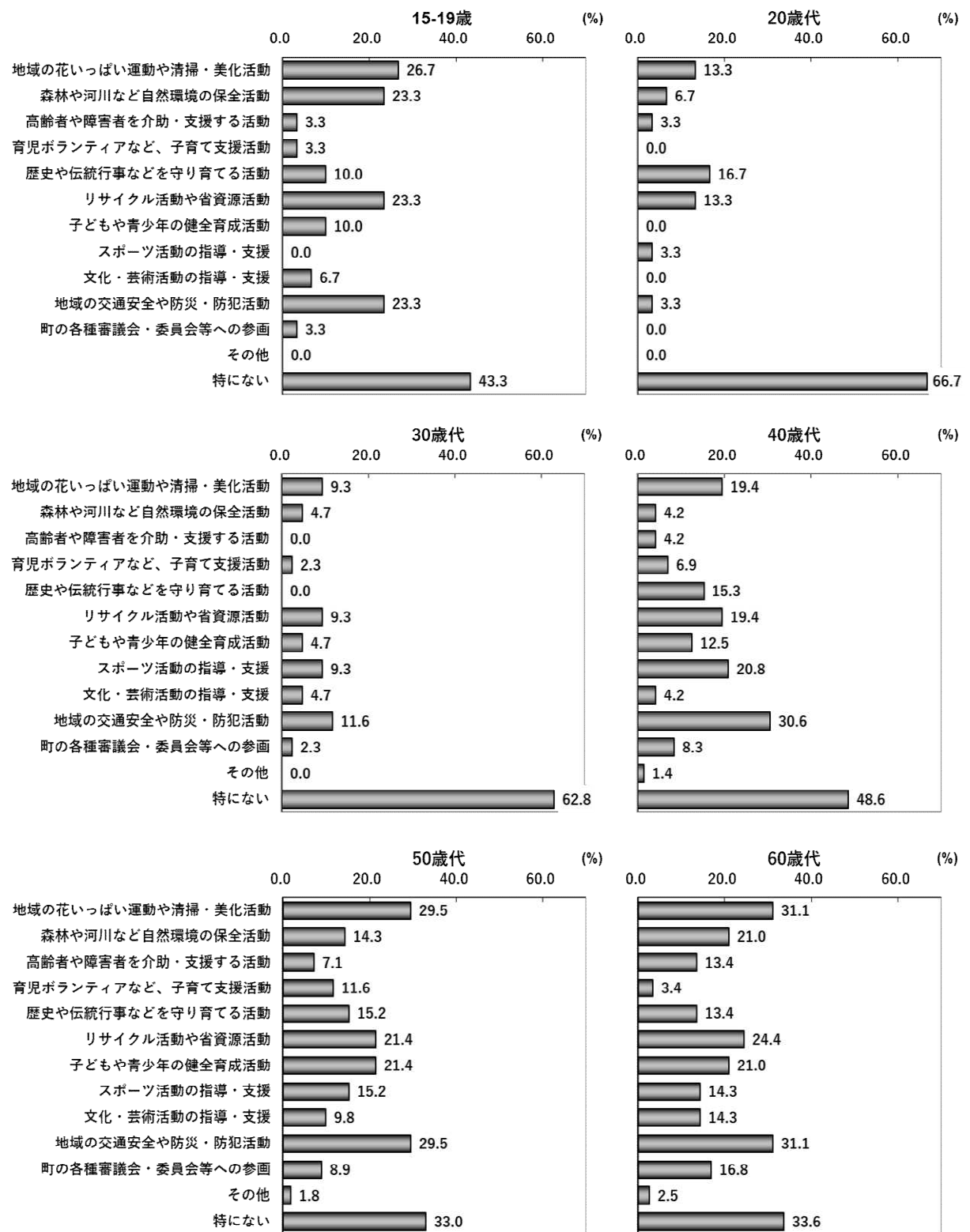
「特にない」が40.2%と「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」よりも多く、前回調査よりも3.3ポイント増加しています。

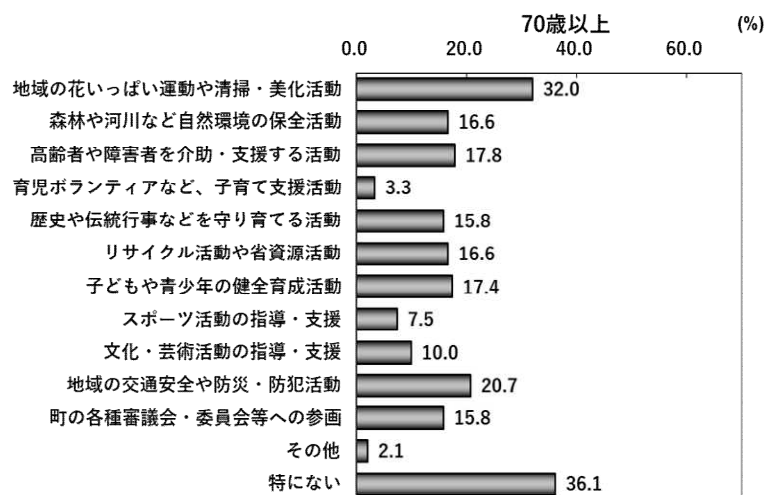


地域別にみると、「子どもや青少年の健全育成活動」「特にない」などで違いがみられます。



年齢別にみると、20 歳代と 30 歳代で「特にない」が 60%を超えています。





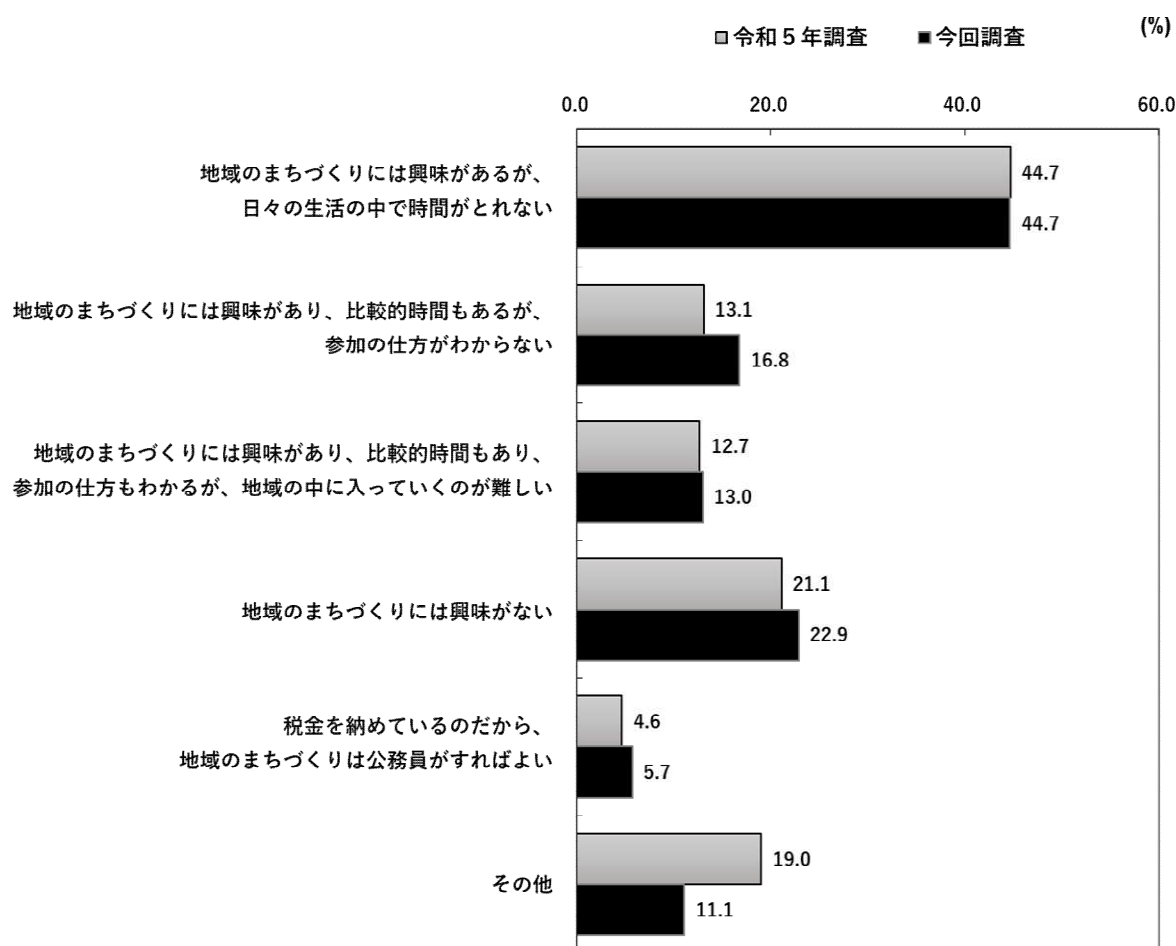
(2) 自分自身が参加しなかった（できなかった）理由

問6 問5で「13. 特になし」と回答された方にお伺いします。あなたが、参加しなかった（できなかった）理由は何ですか？《3つまで選んでください》

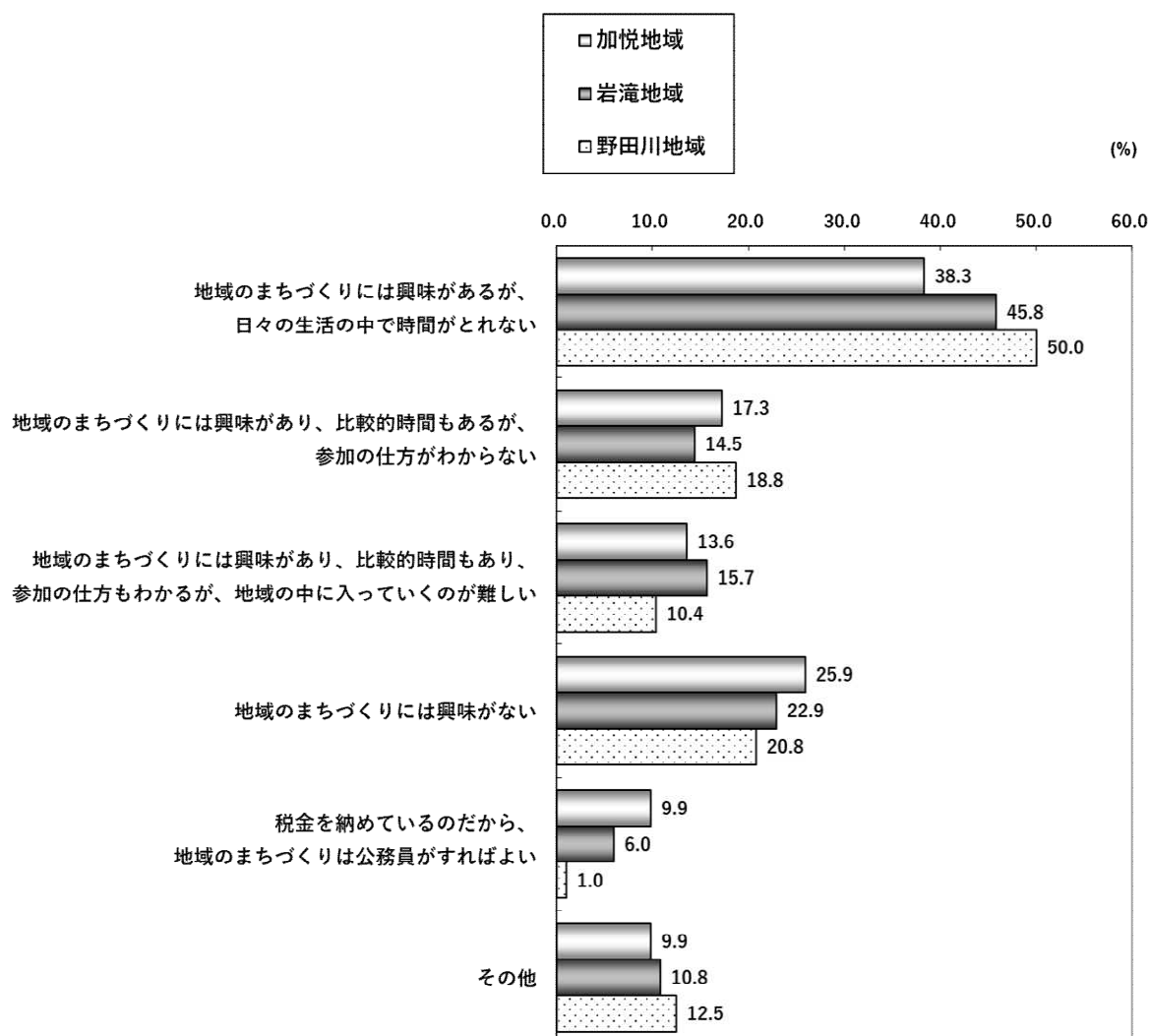
特になしと回答された方=262/651

「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない」が前回調査同様に、最も多く 44.7%、次いで「地域のまちづくりには興味がない」が 22.9%となっています。

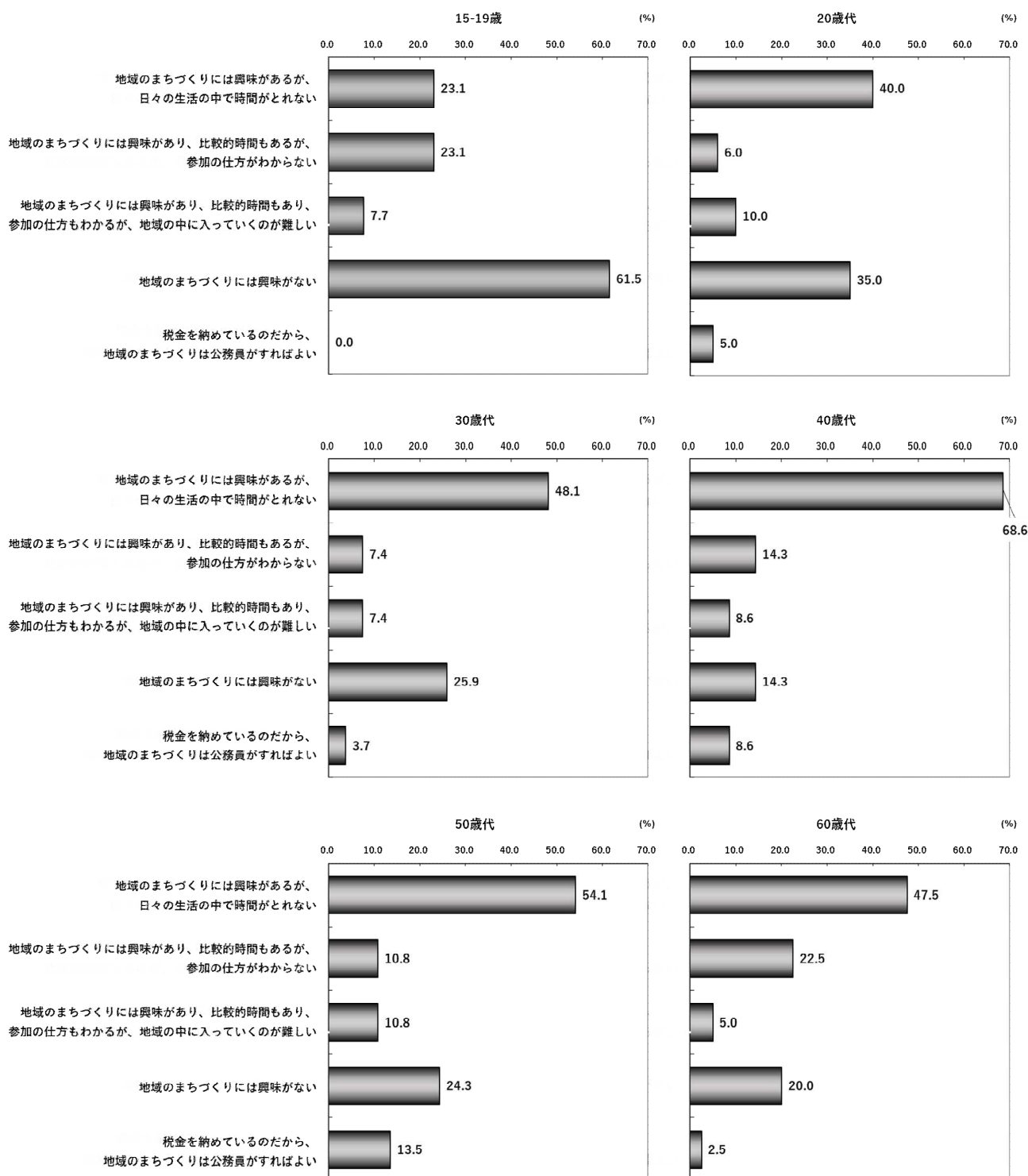
前回調査との違いとして、「地域のまちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない」が 16.8%と 3.7 ポイントと最も多く増加しています。

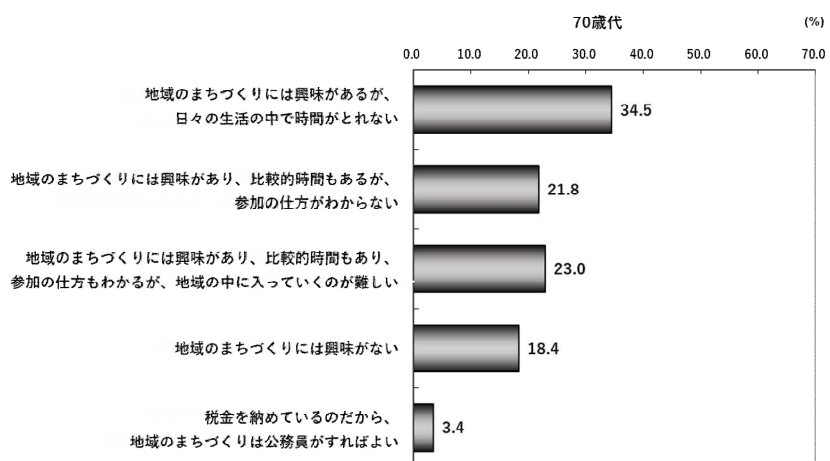


地域別にみると、「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない」という項目で違いがみられます。



年齢別にみると、「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない」が20歳代から70歳代において最も多くなっています。





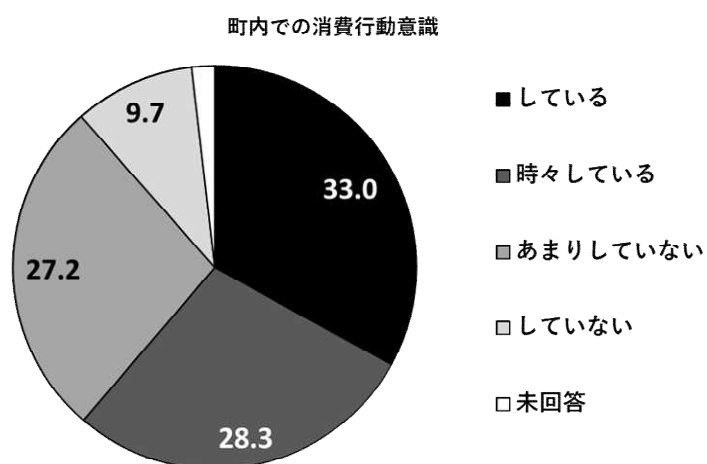
3 行動・意識について

(1) 町内消費行動

問7 町内での消費行動を意識していますか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

「している」が33.0%、「時々している」が28.3%になっています。

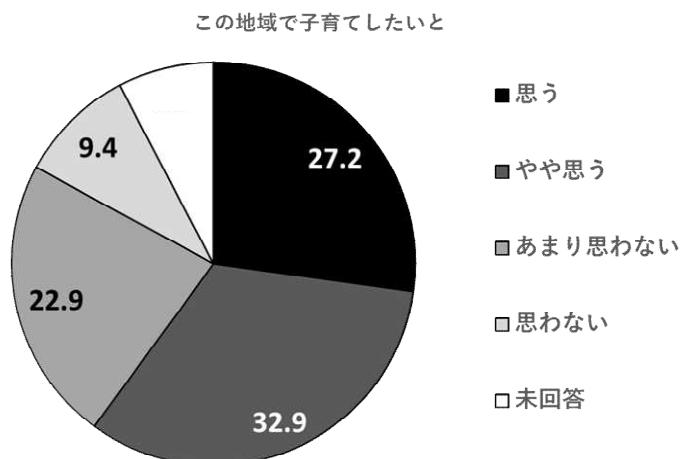


(2) 子育て意向

問8 この地域で子育てをしたいと思いますか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

「思う」が27.2%、「やや思う」が32.9%になっています。

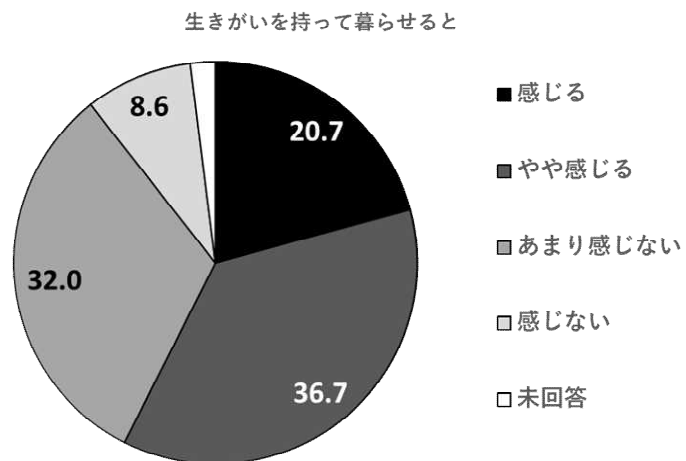


(3) こころのよりどころ

問9 生きがいを持って暮らせると感じますか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

「感じる」が20.7%、「やや感じる」が36.7%となっています。



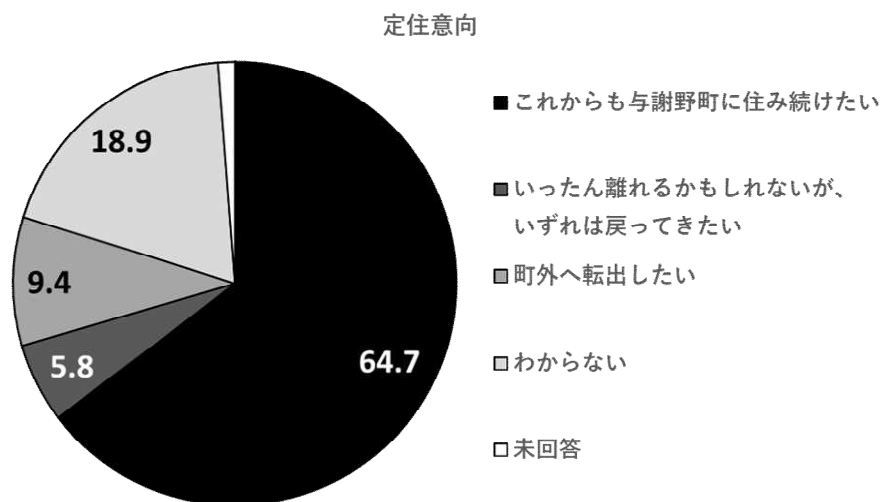
4 与謝野町の住みごころについて

(1) 定住意向

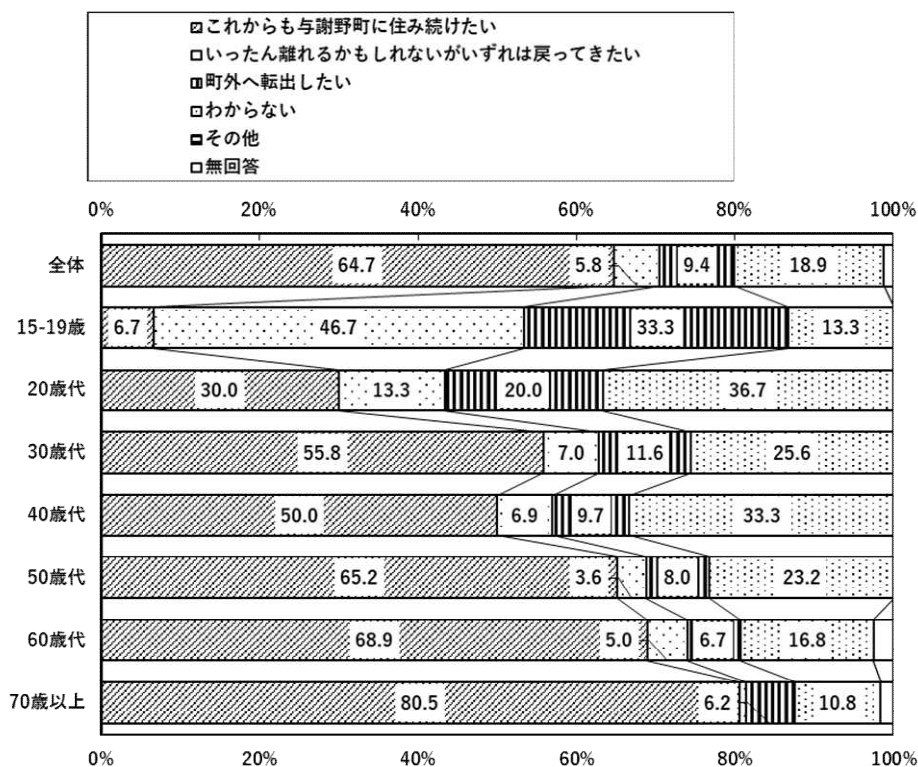
問10 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

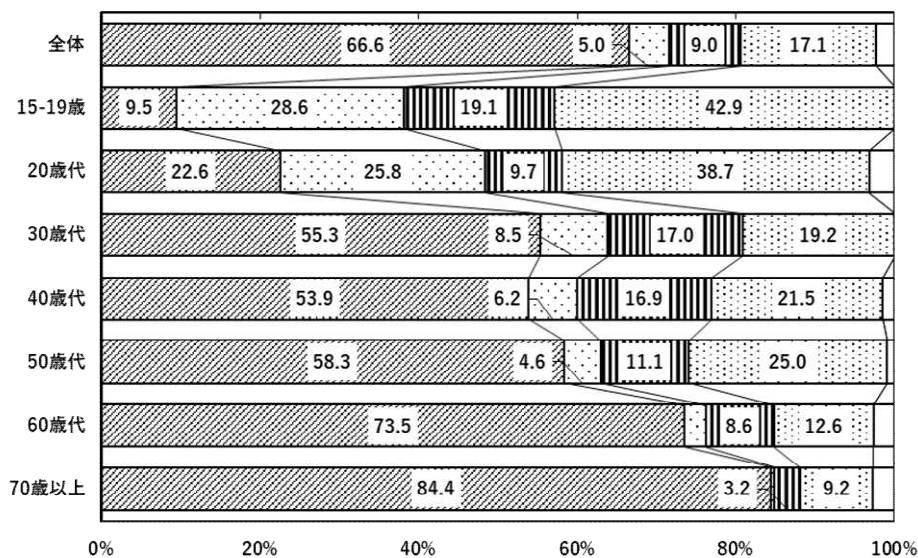
「これからも与謝野町に住み続けたい」が64.7%、「いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい」が5.8%となっています。



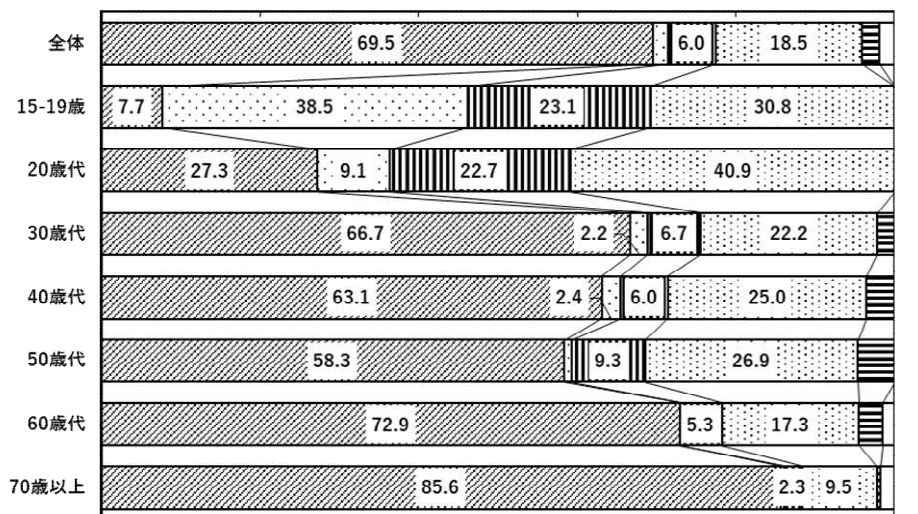
【今回調査】



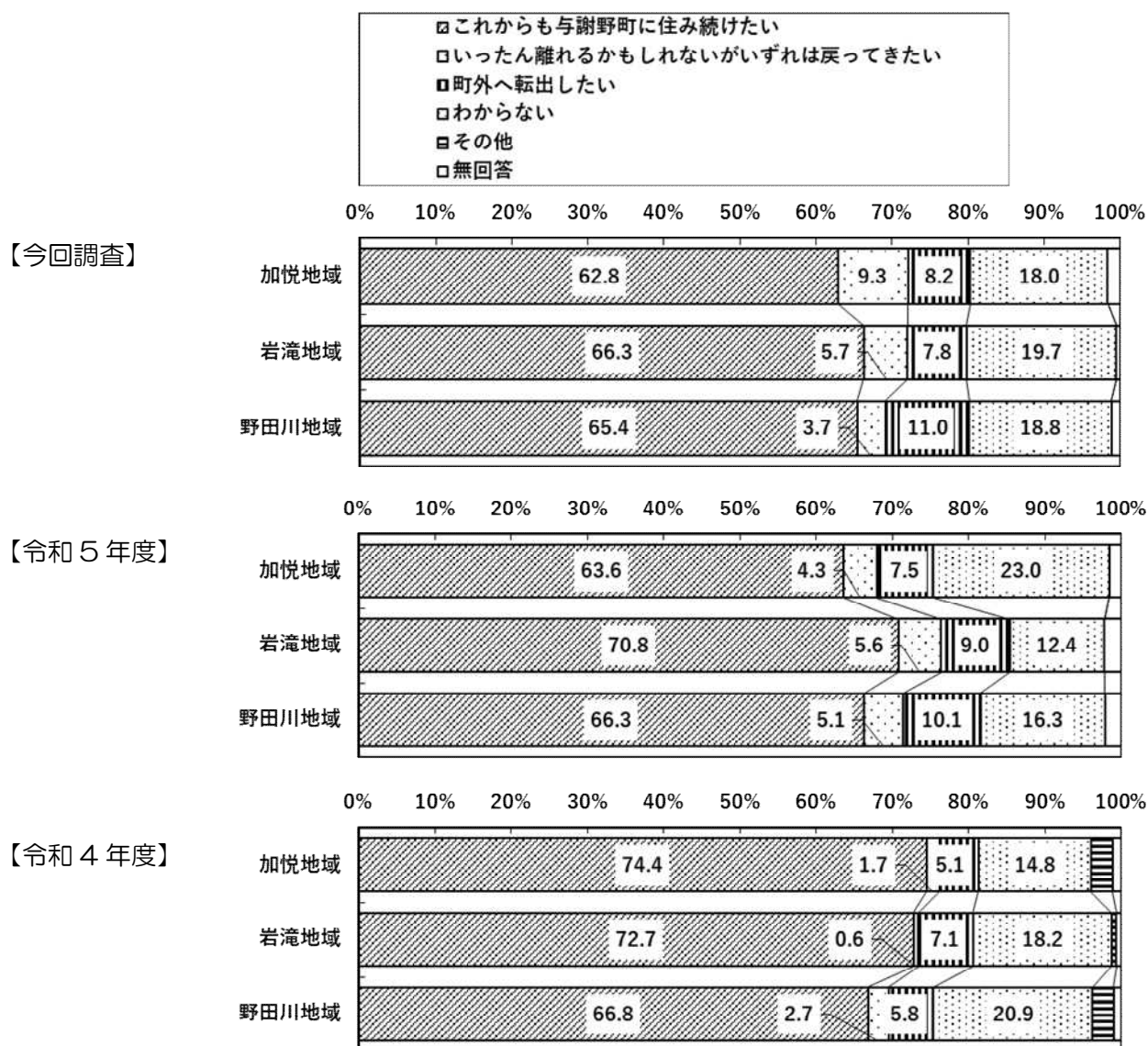
【令和 5 年度調査】



【令和 4 年度調査】



地域別にみると、「これからも与謝野町に住み続けたい」が全地域で 70%を切りました。「これからも与謝野町に住み続けたい」と「いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい」の定住意向は、加悦地域においては前回調査よりも増加しています。

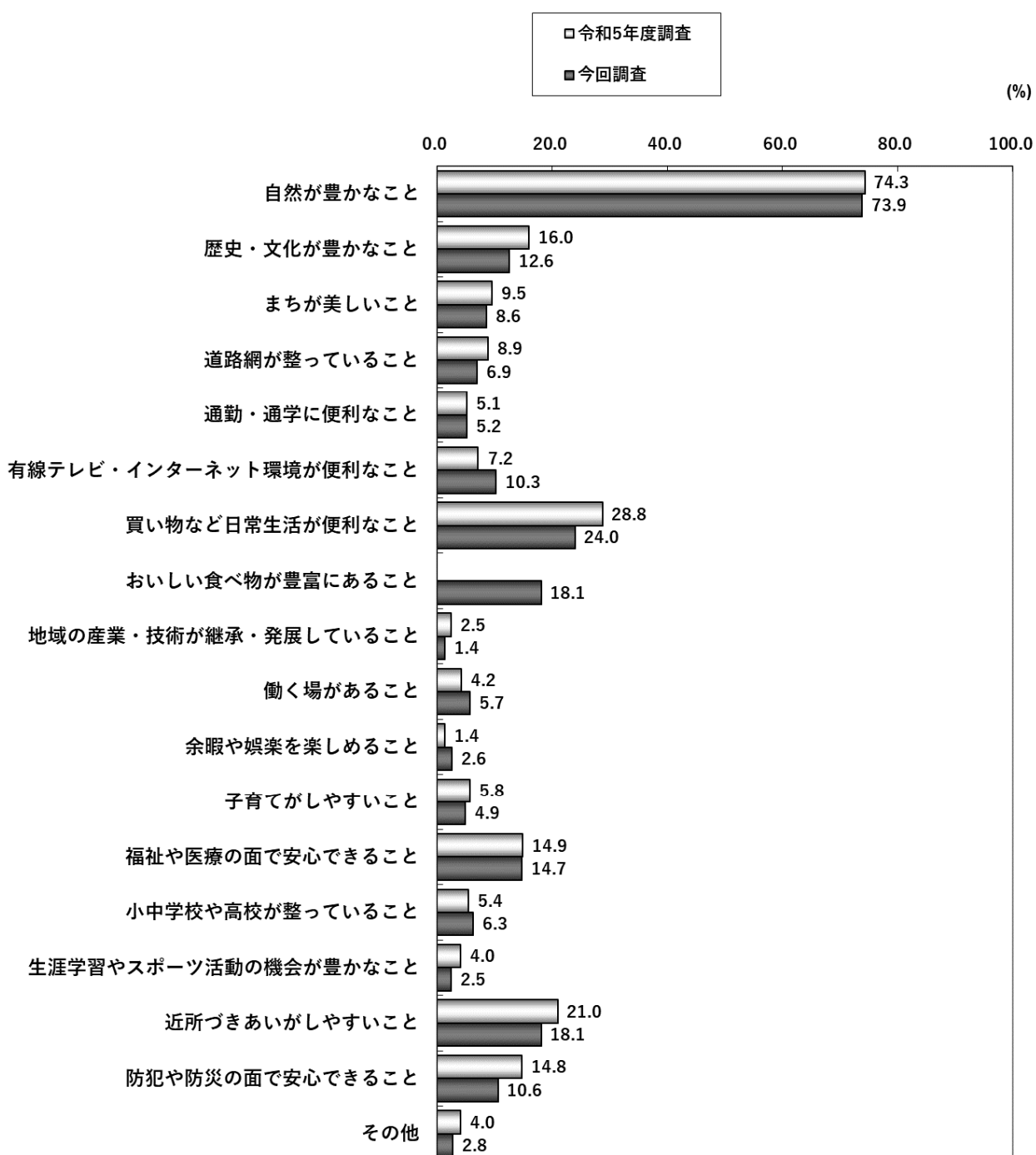


(2) 与謝野町の良いところ

問 1 1 与謝野町の良いところは何ですか。《3つまで選んでください》

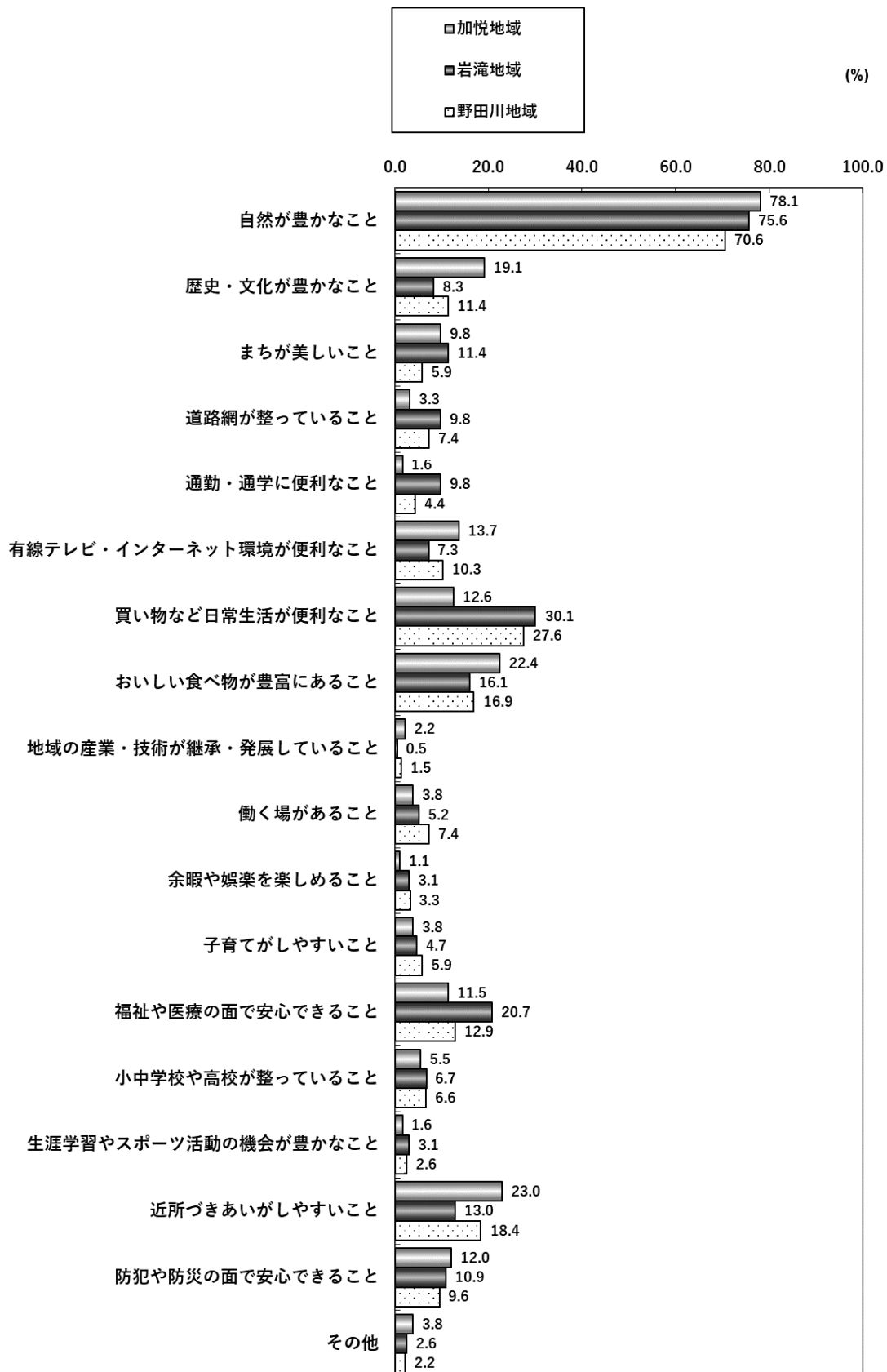
全体数=651

「自然が豊かなこと」がもっとも多く 73.9%、次いで「買い物など日常生活が便利なこと」が 24.0%、「近所づきあいがしやすいこと（地域コミュニティ活動が盛んである）」「おいしい食べ物が豊富にあること」が 18.1%という結果になっています。

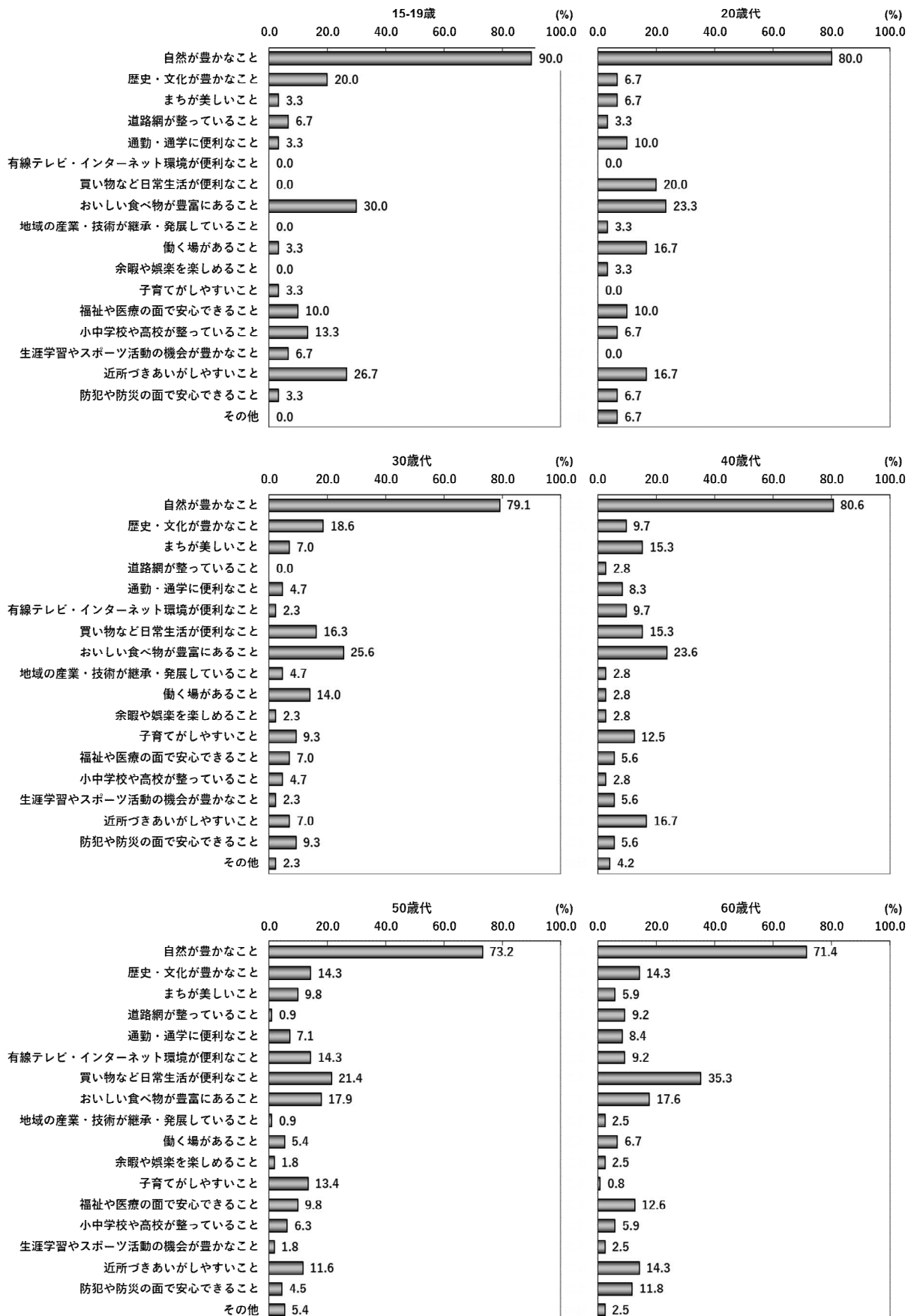


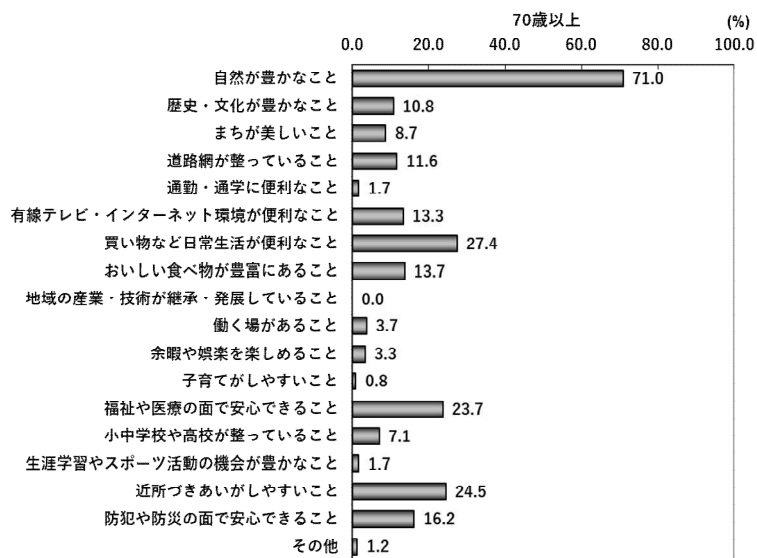
(※今回調査から「おいしい食べ物が豊富にあること」の選択肢を追加)

地域別にみると、「歴史・文化が豊かなこと」、「買い物など日常生活が便利なこと」、「福祉や医療の面で安心できること」、「近所づきあいがしやすいこと」などで違いがみられます。



年齢別にみても、全体の順位の傾向と大きな違いはありません。



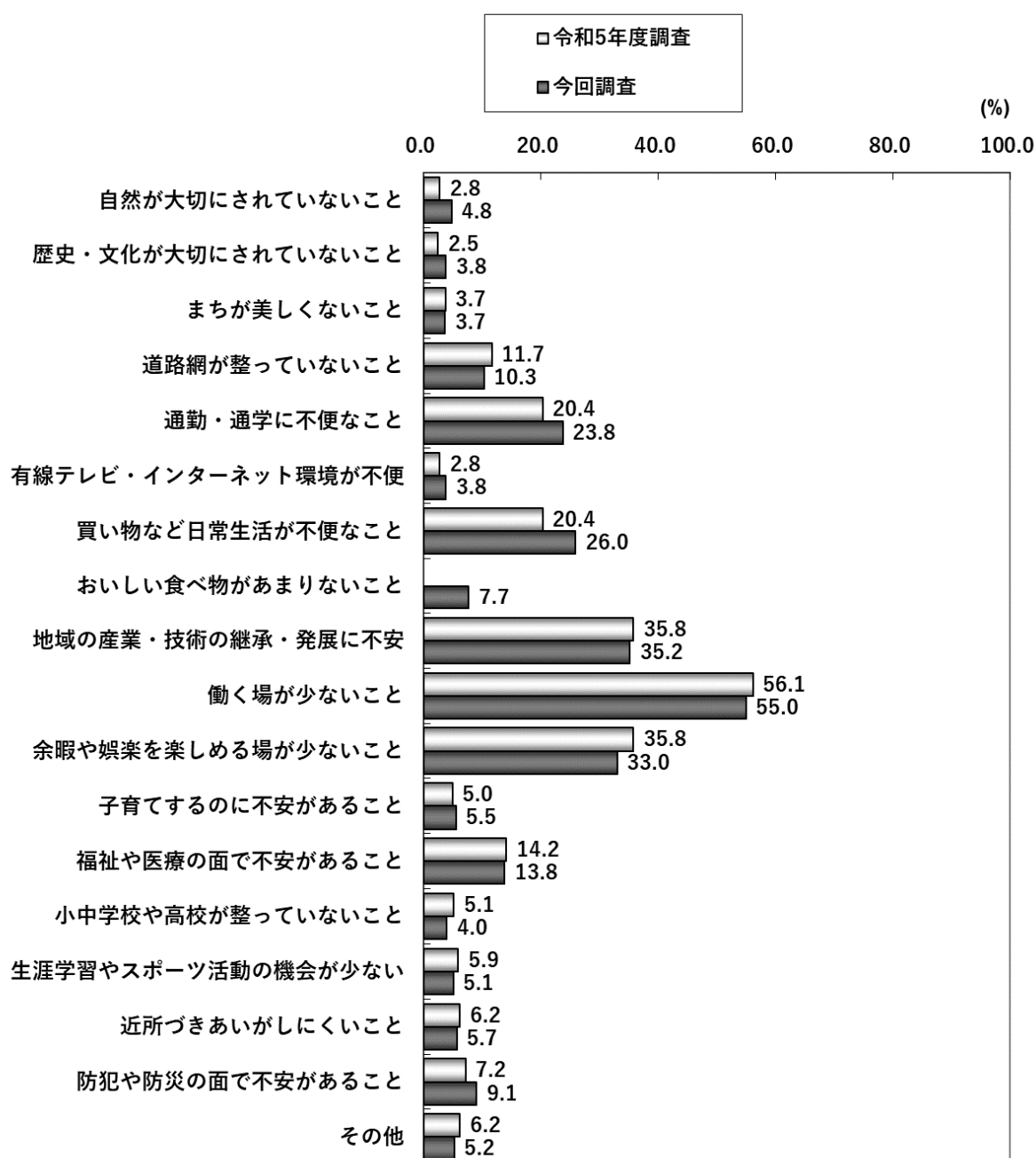


(3) 与謝野町のまちづくりで気になるところ

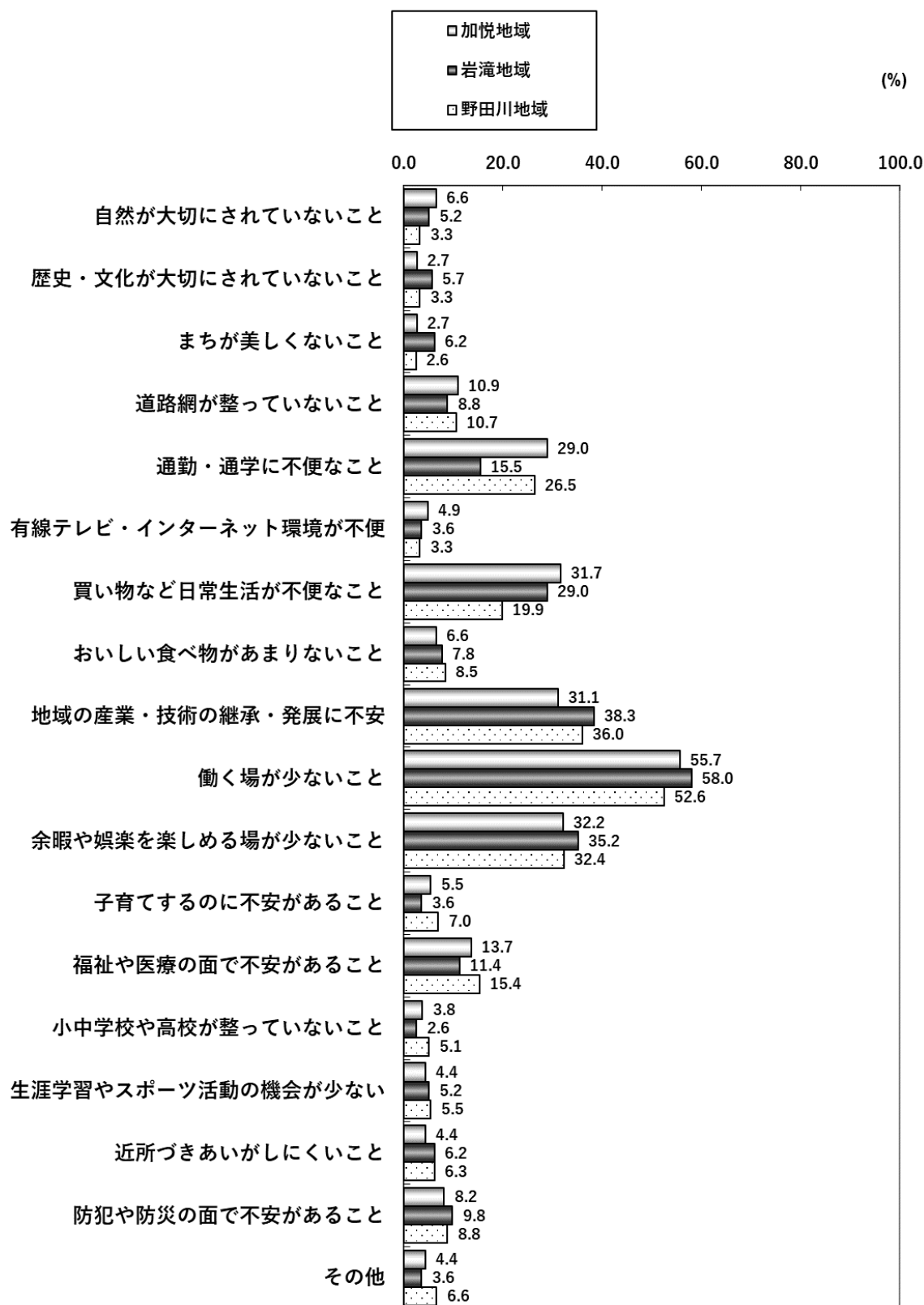
問12 与謝野町の気になるところは何ですか。《3つまで選んでください》

全体数=651

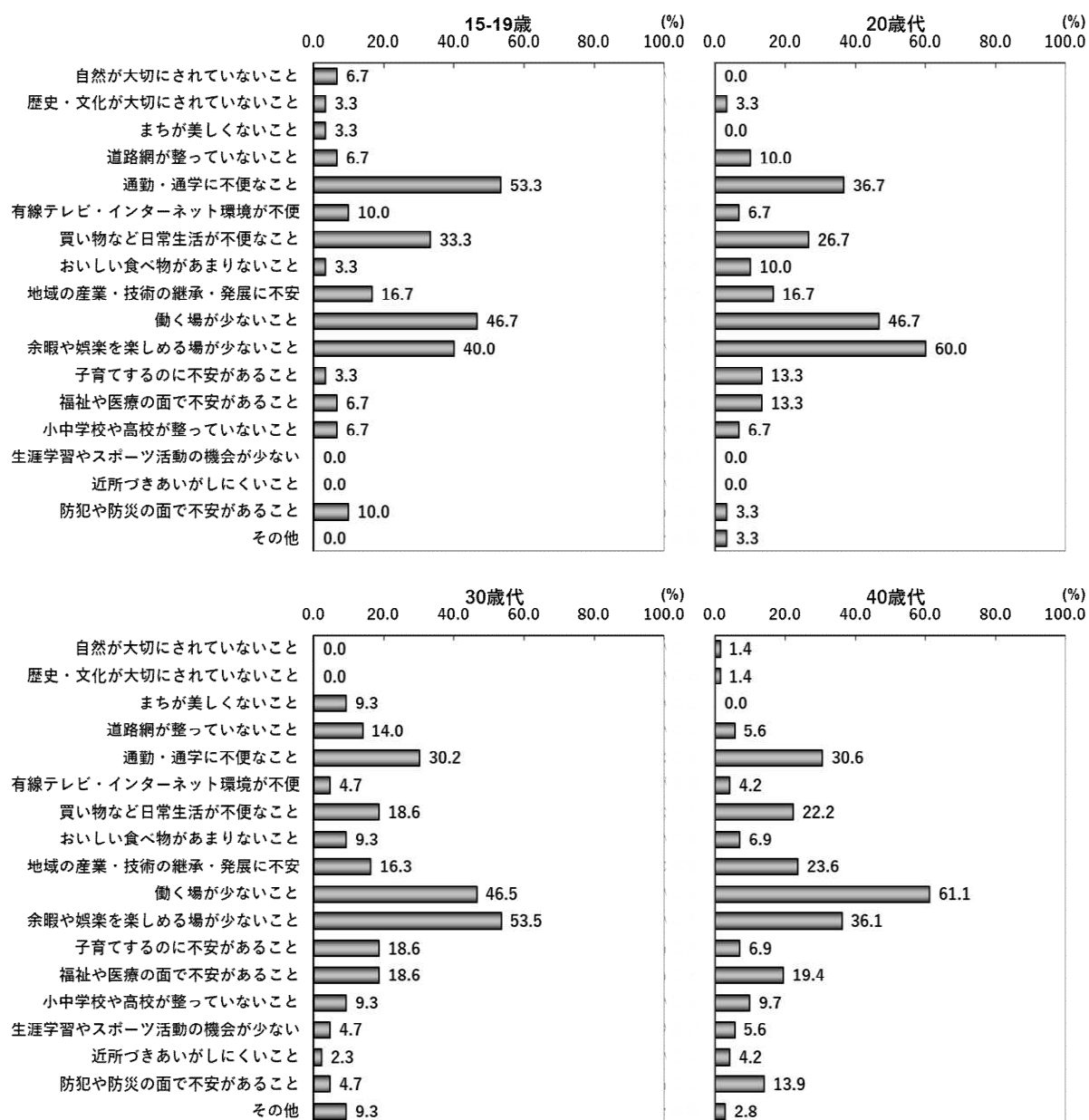
「働く場が少ないこと」がもっとも多く 55.0%、次いで「地域の産業・技術の継承・発展に不安があること」が 35.2%、「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないこと」が 33.0%という結果になっており、順位の傾向は前回調査と変わっていません。

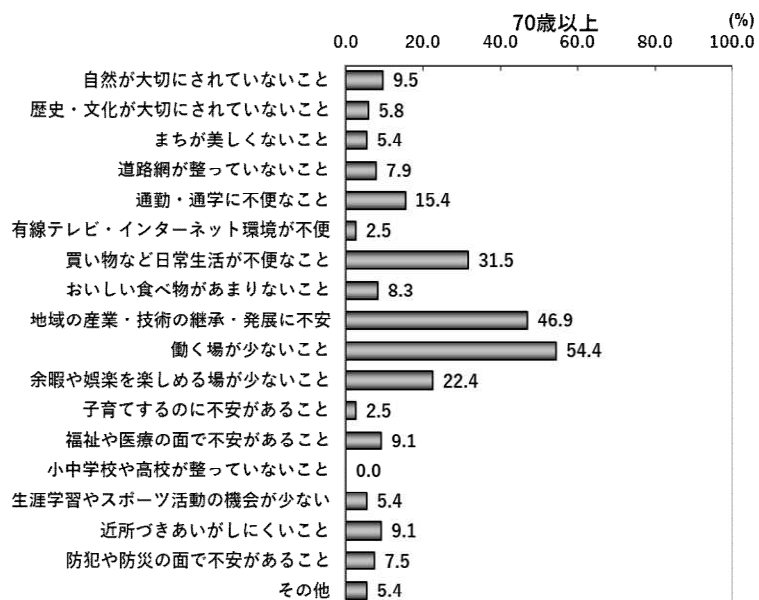
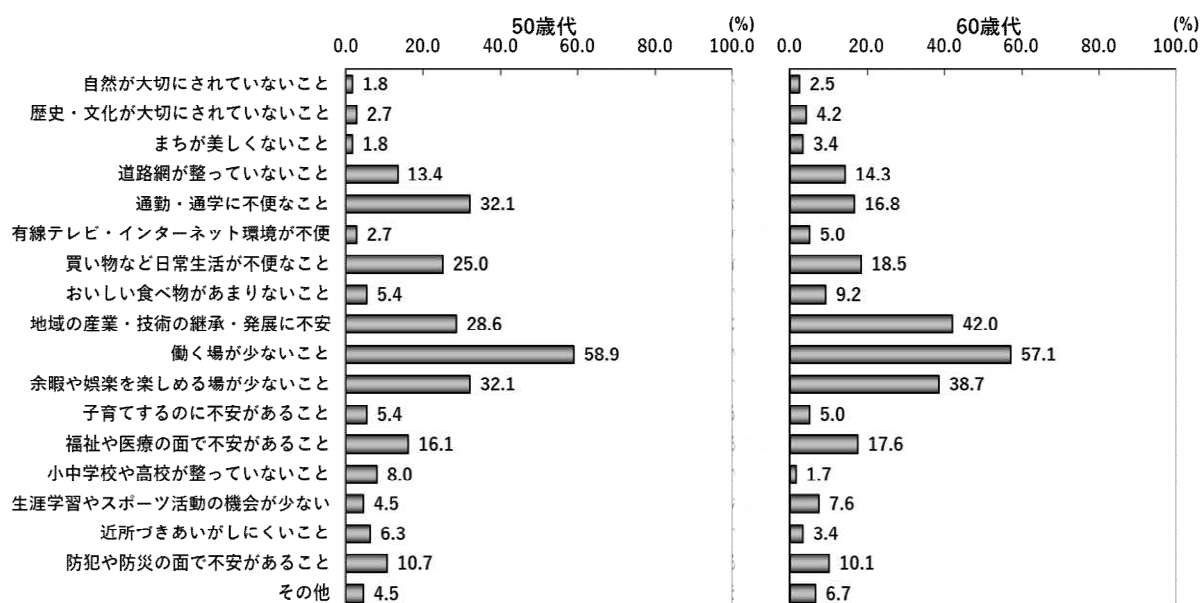


地域別にみると、「通勤・通学に不便なこと」、「買い物など日常生活が不便なこと」、「地域の産業・技術の継承・発展に不安」などで違いがみられます。



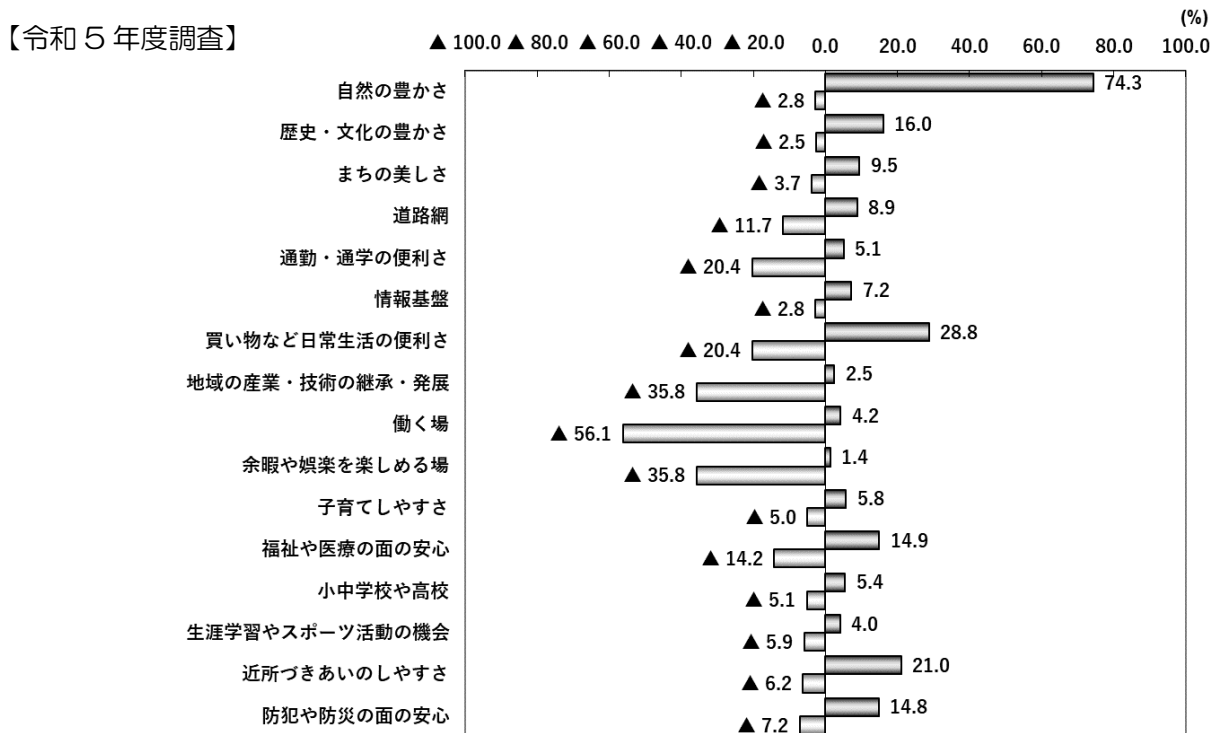
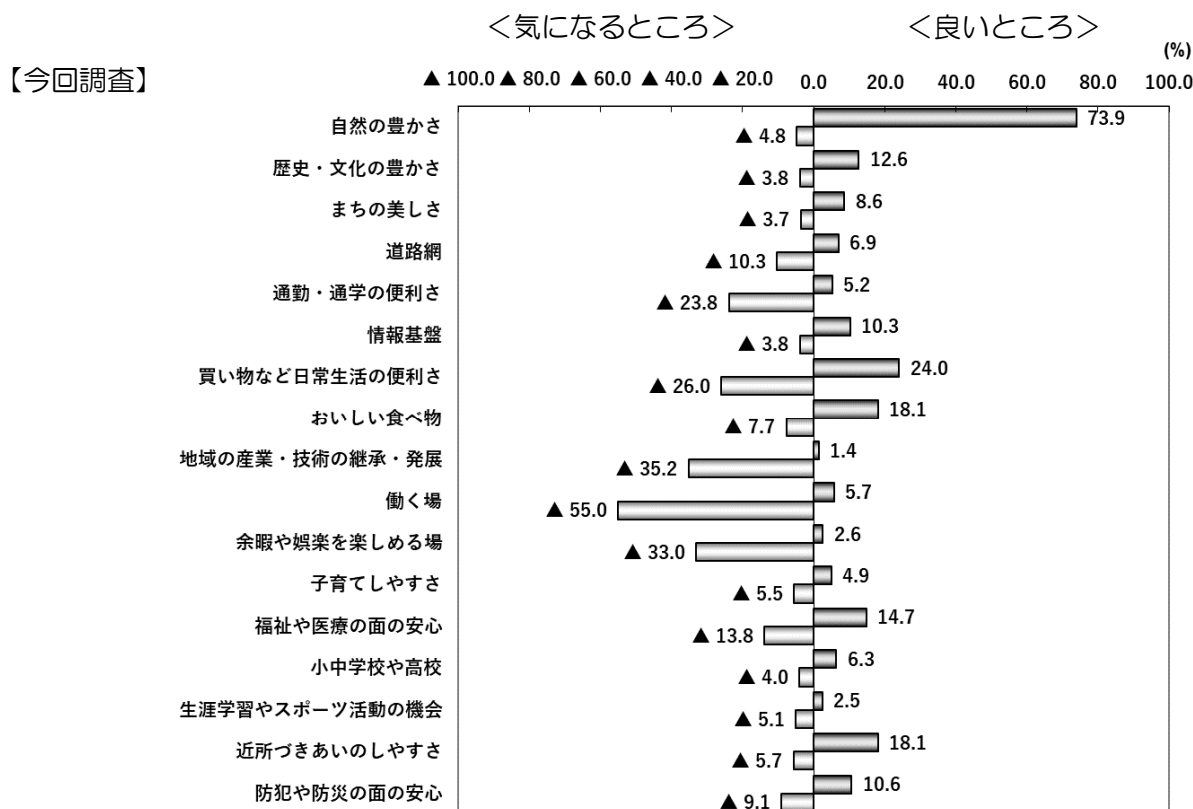
年齢別にみると、15～19 歳は「通勤・通学に不便なこと」がもっとも多く、20 歳代と 30 歳代は「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないこと」がもっとも多くなっています。40 歳～70 歳以上では「働く場が少ないこと」がもっとも多くなっています。





(4) 与謝野町の良いところと気になるところ

与謝野町の良いところと気になるところを 1 つのグラフにすると、次のとおりです。



5 与謝野町のまちづくりと将来の姿について

(1) 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度

問13 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どのくらい満足していますか。

《すべての項目について1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください》

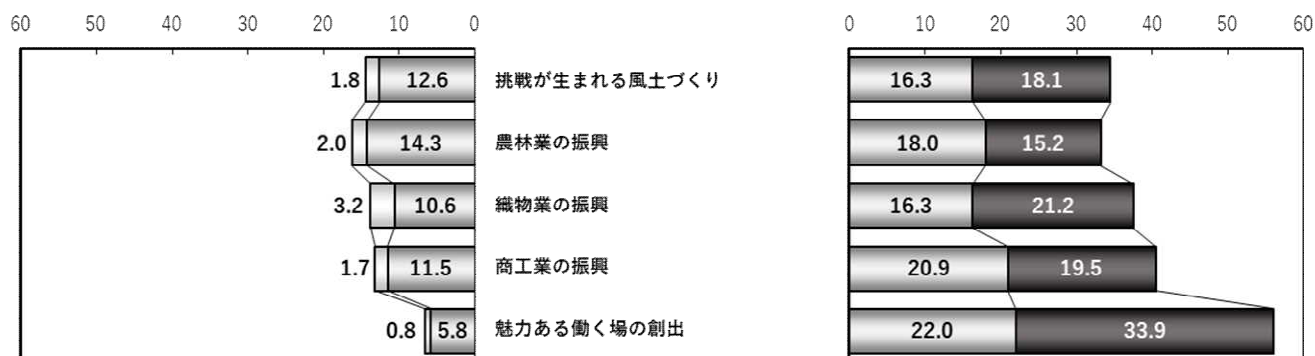
全体数=651

「満足」と「やや満足」を合わせた割合では「安心・安全に暮らせる地域づくり」が39.8%と最も多く、次いで「元気な体づくりの推進」が31.9%、「快適で暮らしやすい生活環境づくり」が31.2%となっています。

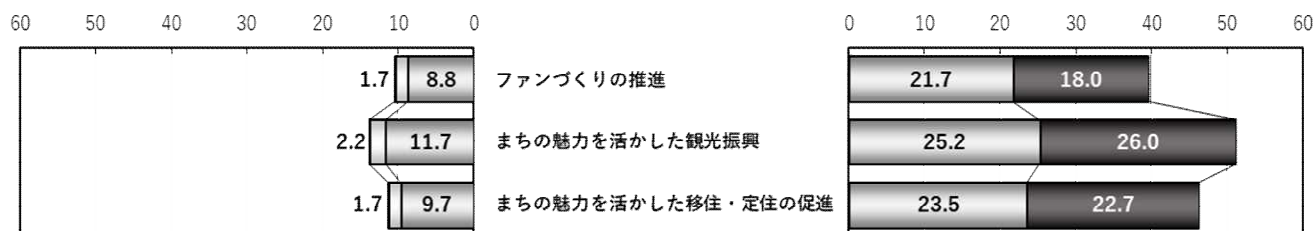
一方で、「不満」と「やや不満」を合わせた割合では「魅力ある働く場の創出」が55.9%と最も多く、次いで「まちの魅力を活かした観光振興」が51.2%、「未来を見据えた行財政運営」が48.7%となっています。

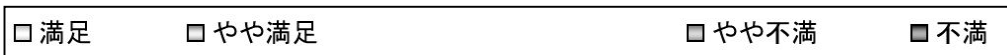
□ 満足 □ やや満足 □ やや不満 □ 不満

◎産業・仕事（一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち）

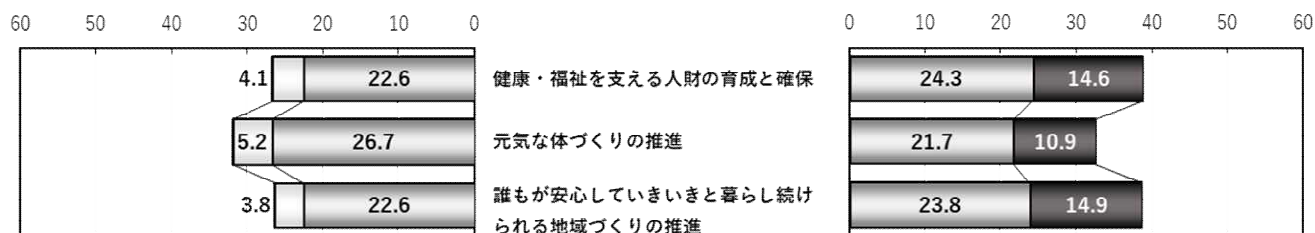


◎観光・交流・移住定住（地元を誇りに想い人の流れを生むまち）

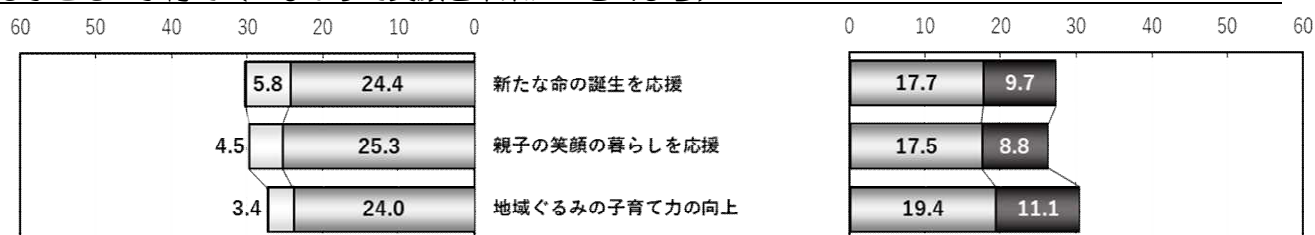




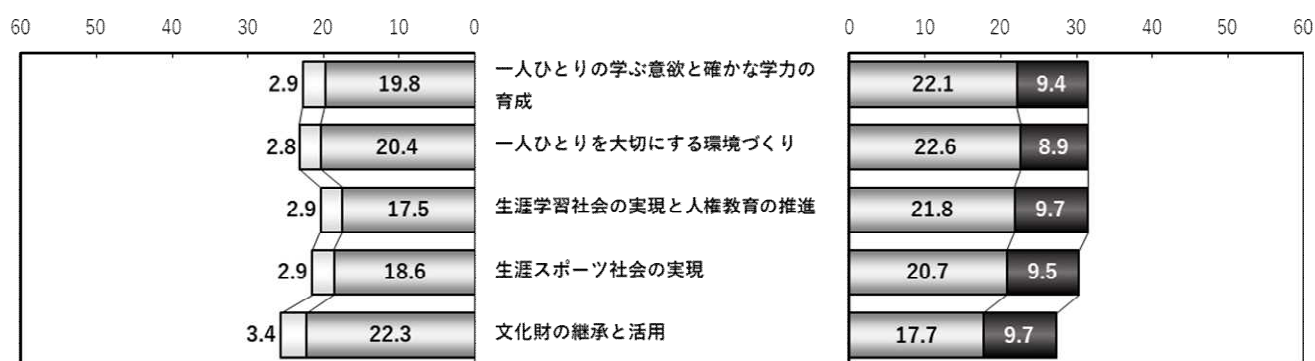
◎健康・福祉（みんなが自分らしく幸せに生きるまち）



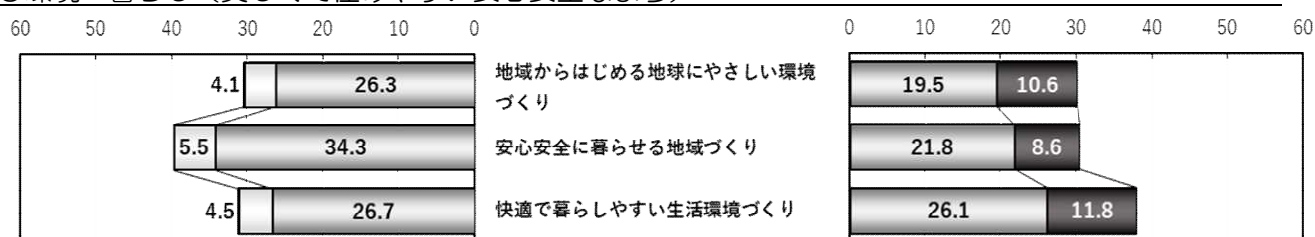
◎子ども・子育て（つながりで笑顔を未来につむぐまち）



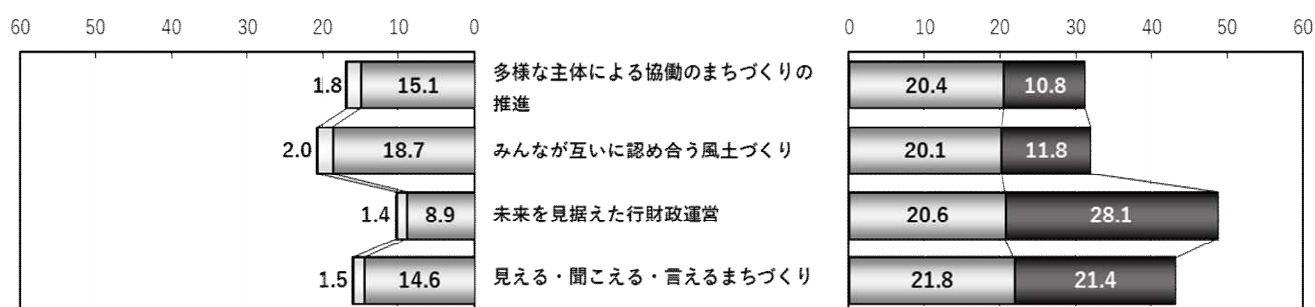
◎教育・スポーツ・文化（魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち）



◎環境・暮らし（美しくて住みやすい安心安全なまち）



◎地域協働・行財政運営（住民が主人公となるまち）



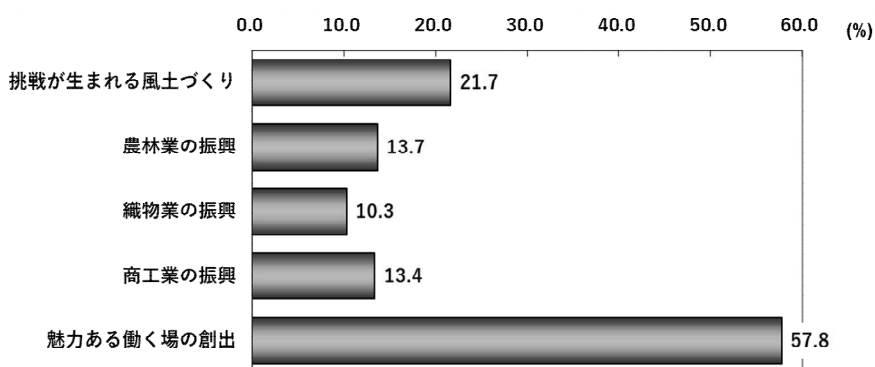
(2) 特に力を入れるべき施策

問 1 4 与謝野町がこれから進めるまちづくりについて、特に重要だと思う施策はどれだとお考えですか。《5つまで選んでください》

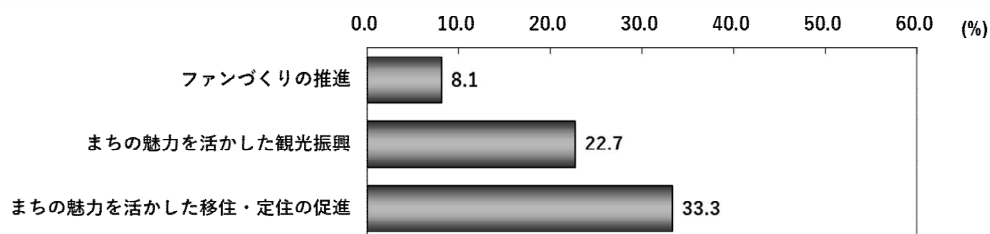
全体数=651

昨年と同様に「魅力ある働く場の創出」が 57.8%と最も多くなっています。次いで「未来を見据えた行財政運営」が 34.6%、「誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進」が 33.3%となっています。「未来を見据えた行財政運営」は前回調査と比較して、9.6 ポイント増加しています。

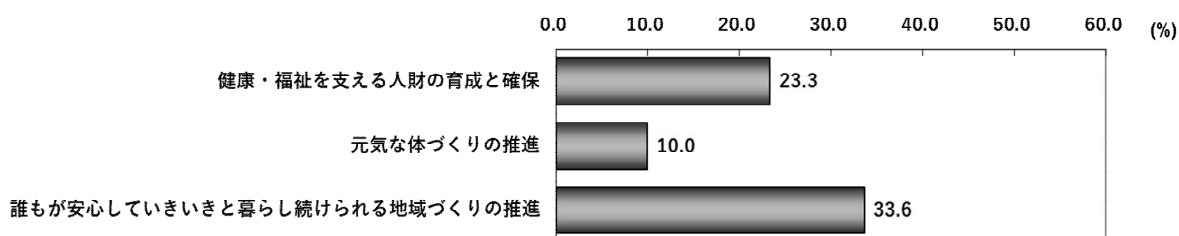
◎産業・仕事（一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち）



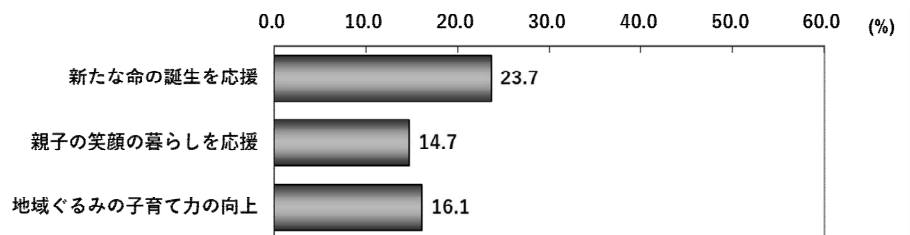
◎観光・交流・移住定住（地元を誇りに想い人の流れを生むまち）



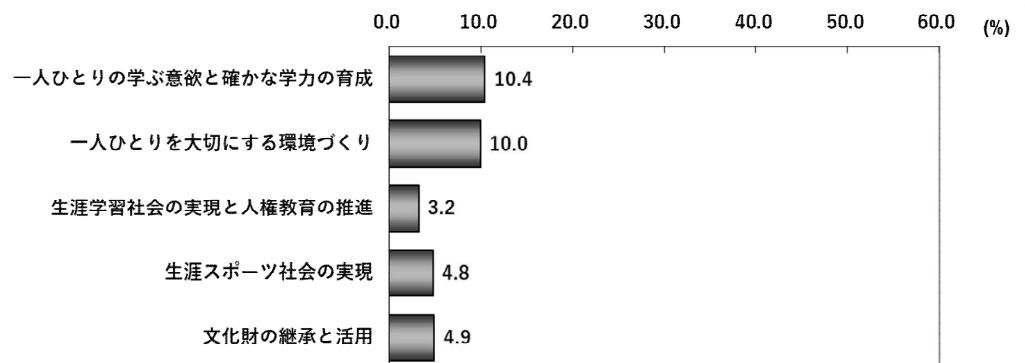
◎健康・福祉（みんなが自分らしく幸せに生きるまち）



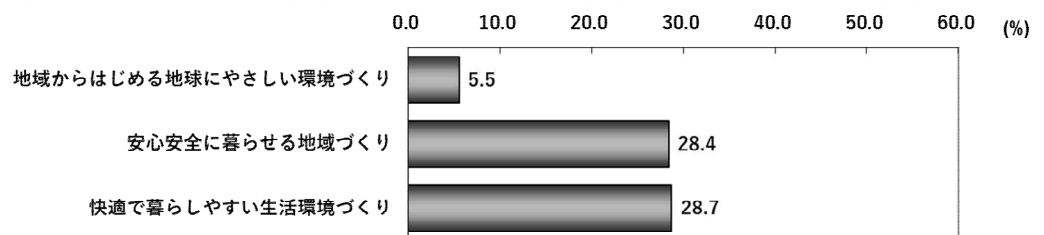
◎子ども・子育て（つながりで笑顔を未来につむぐまち）



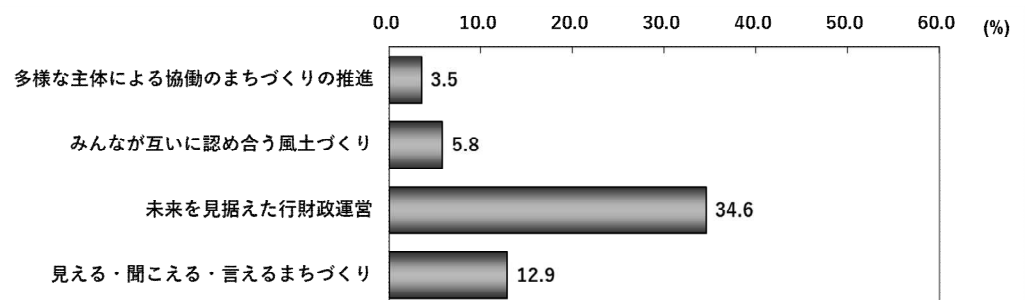
◎教育・スポーツ・文化（魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち）



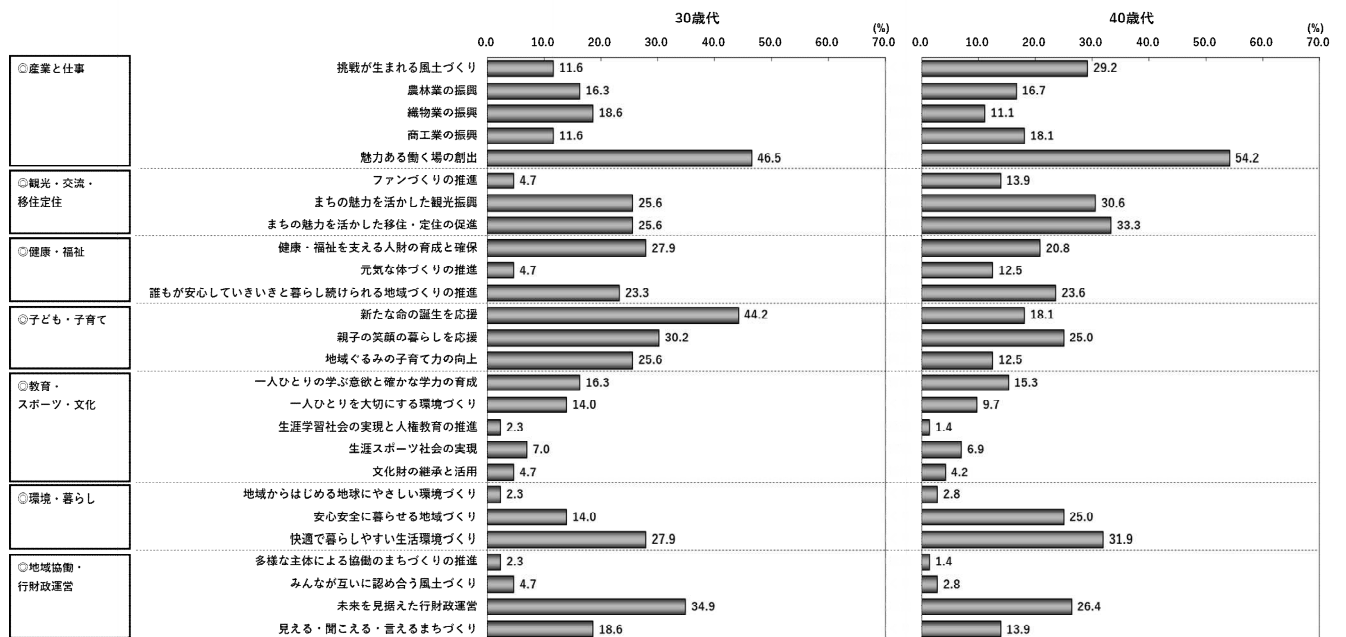
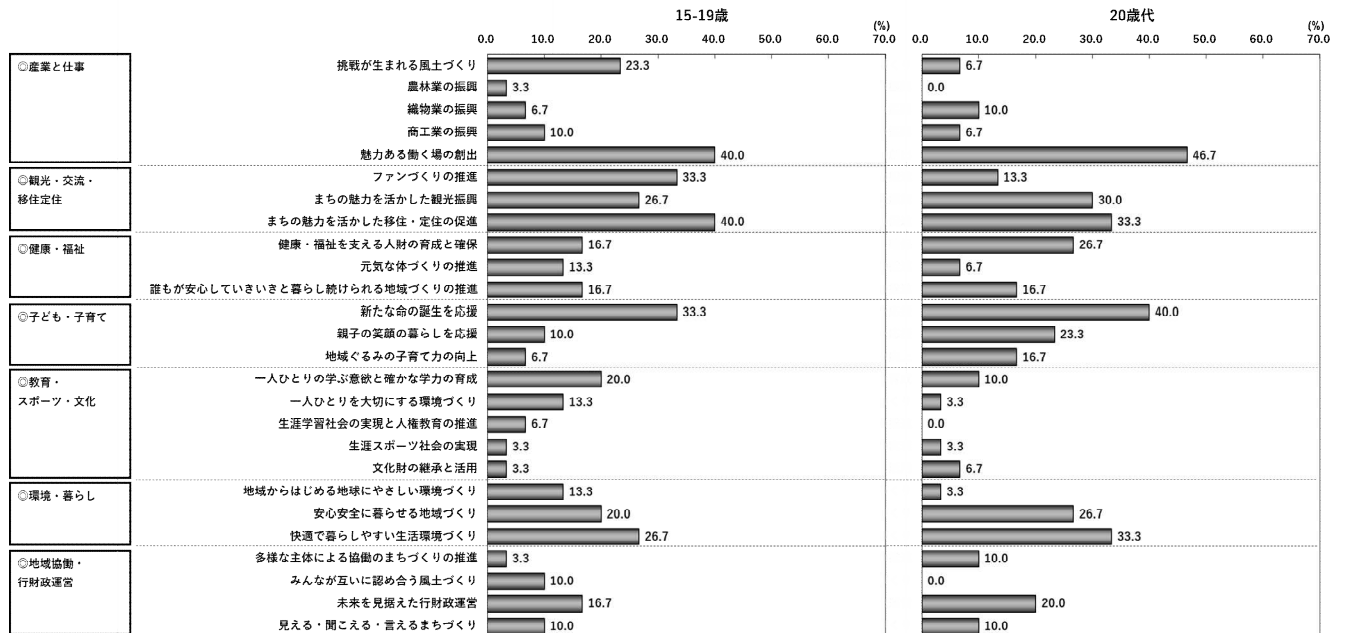
◎環境・暮らし（美しくて住みやすい安心安全なまち）

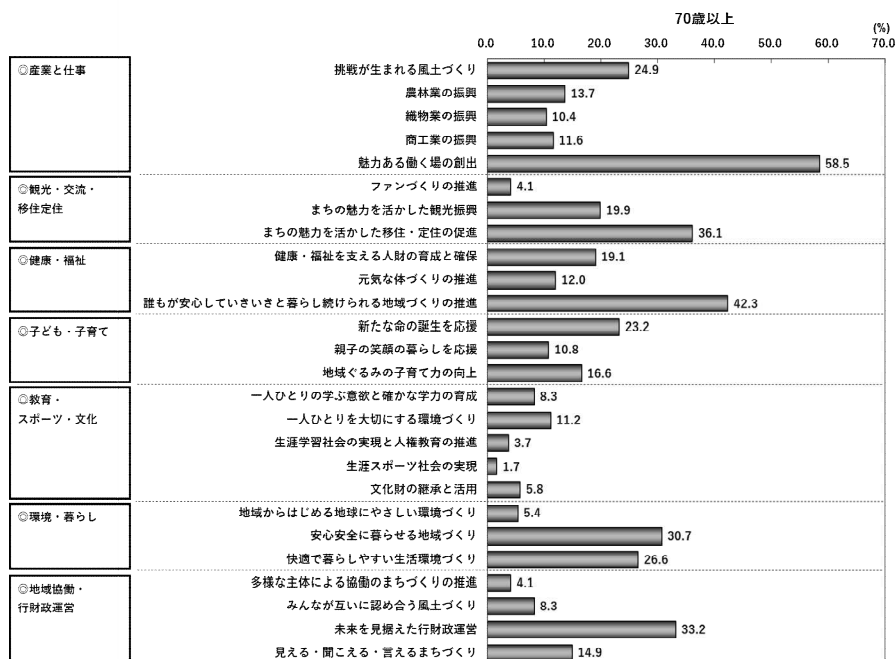
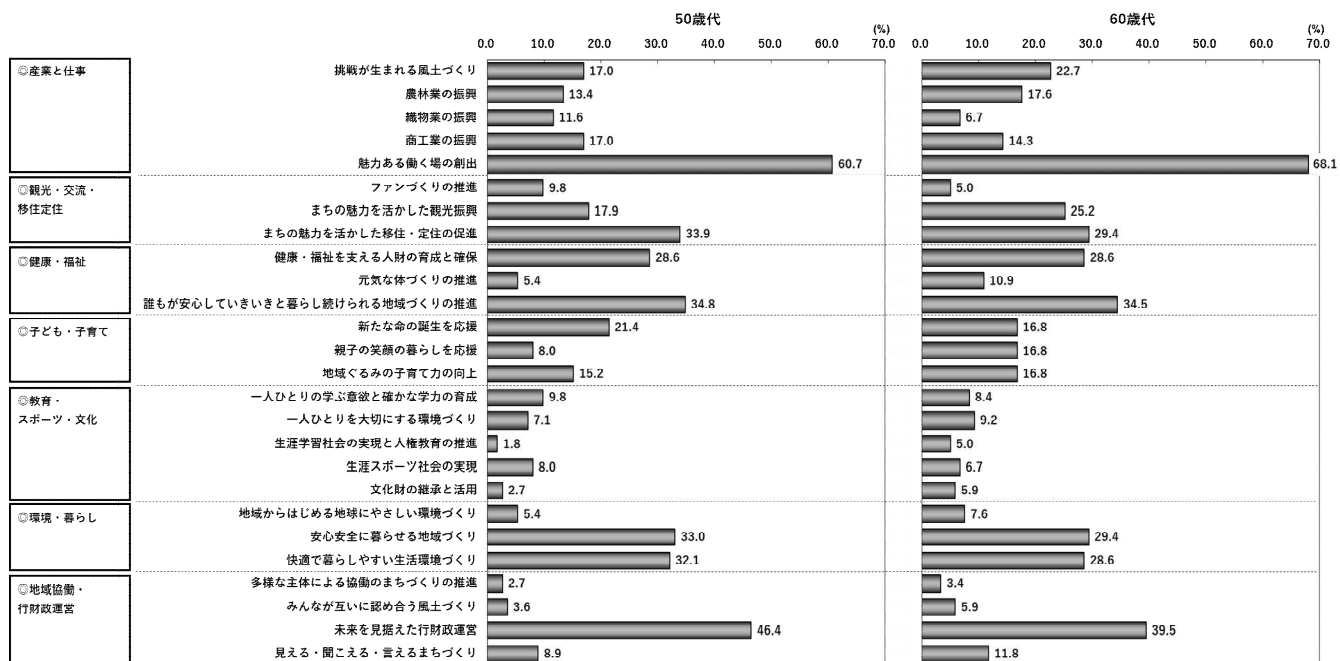


◎地域協働・行財政運営（住民が主人公となるまち）



年代別にみると、全世代において「魅力ある働く場の創出」がもっとも多くなっています。



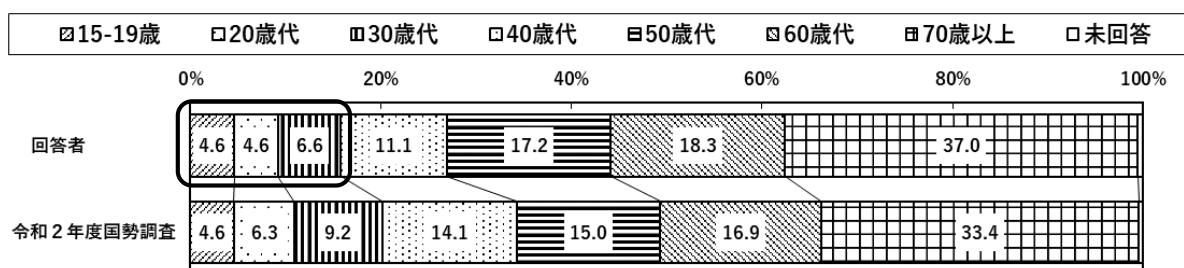


6 若者世代に見る与謝野町のまちづくりと将来の姿について

本アンケートは、15歳以上の町民から2,000人を無作為抽出し、651件の回答を得ましたが、実際の人口の年齢構成においては40歳以上が約80%を占めており、また回答者の年齢構成においても40歳以上が約80%を超えています。

そこで10年先、20年先において本町のまちづくりを担う主力と想定される15歳～39歳の年齢層（若者世代）103件の回答傾向を把握するため、当該世代に絞ってアンケート結果をまとめました。

（再掲）



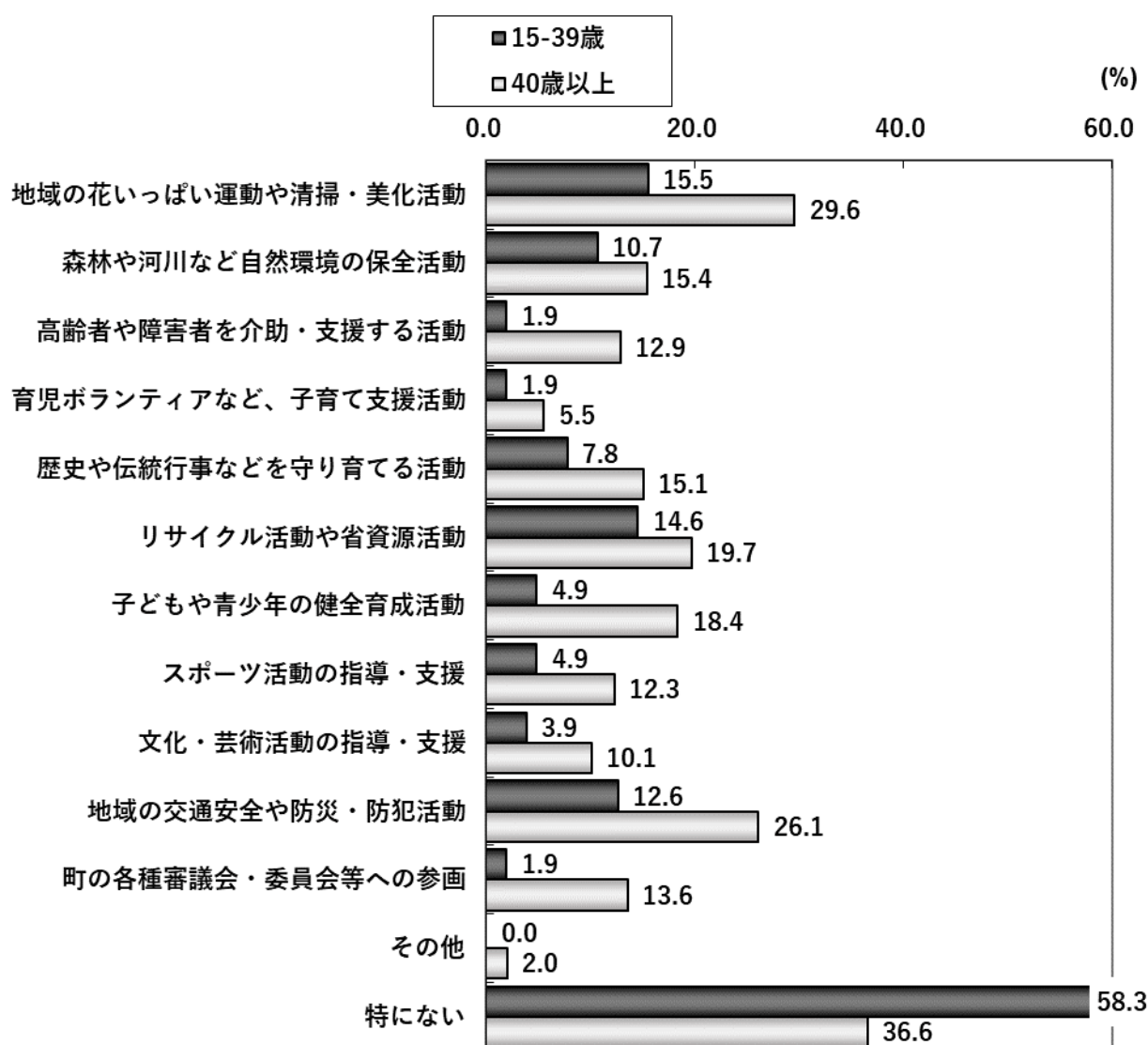
(1) 自分自身が参加したことがあること

問5 あなたは、「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。《参加したことがあるものすべてを選んでください》

若者世代数=103/651

若者世代で「特にない」が58.3%と高くなっています。

また、すべての活動において40歳以上より少ない結果となっており、若者世代のまちづくりへの参加が課題と言えます。

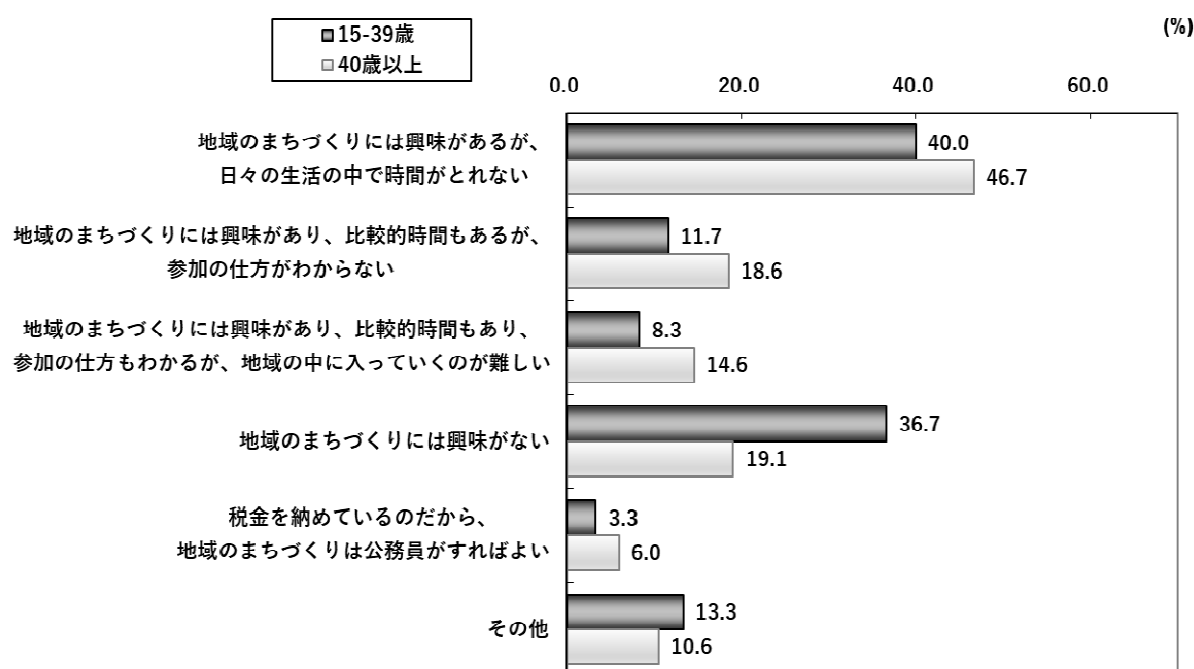


(2) 自分自身が参加しなかった（できなかった）理由

問6 問5で「13. 特にない」と回答された方にお伺いします。あなたが、参加しなかった（できなかった）理由は何ですか？《3つまで選んでください》

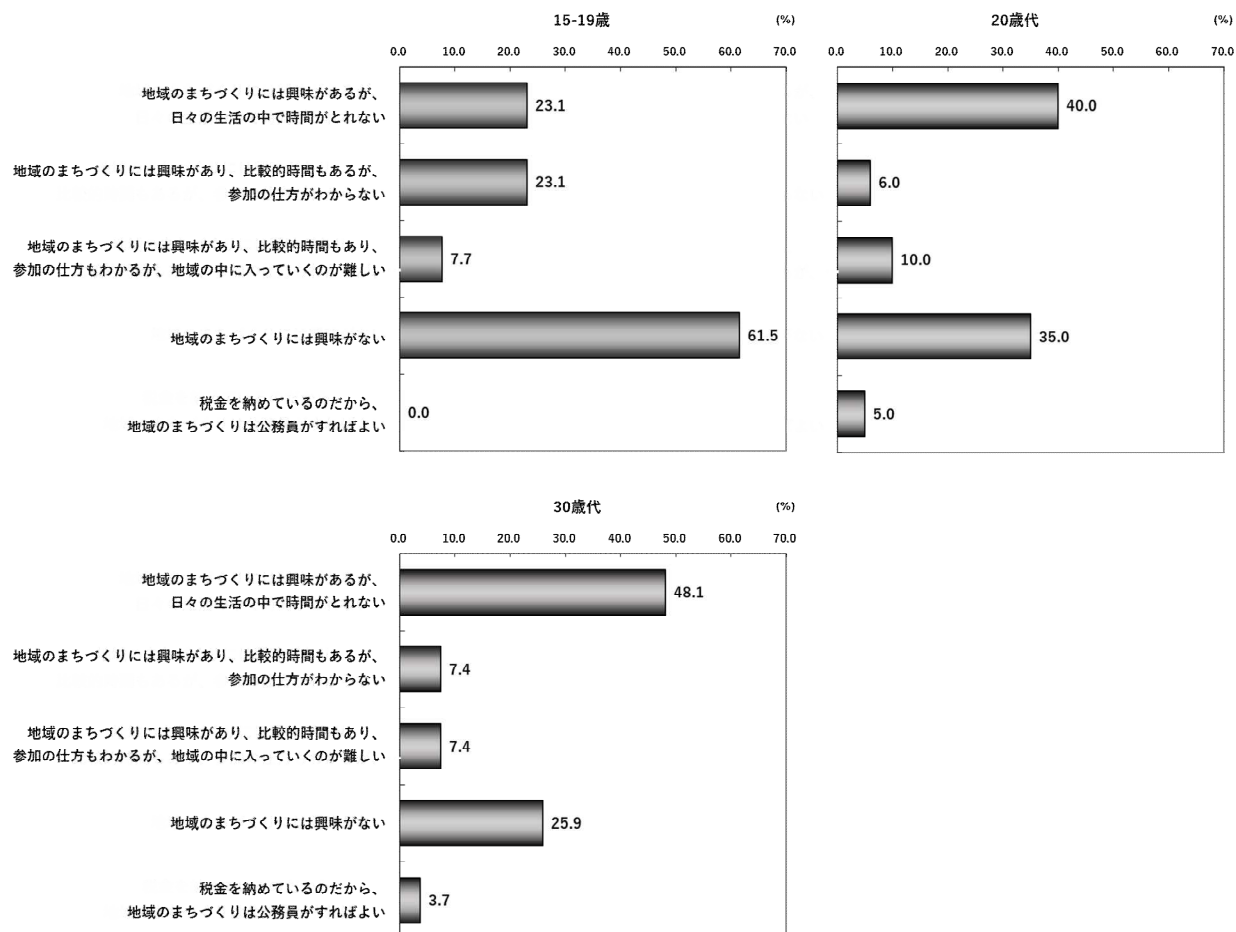
特にないと回答した若者世代数=60/262

若者世代においては「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間が取れない」がもっとも多く40.0%、次いで「地域のまちづくりには興味がない」が36.7%となっています。



年代別にみると、15～19 歳において「地域のまちづくりには興味がない」が 61.5%となっています。

(再掲)



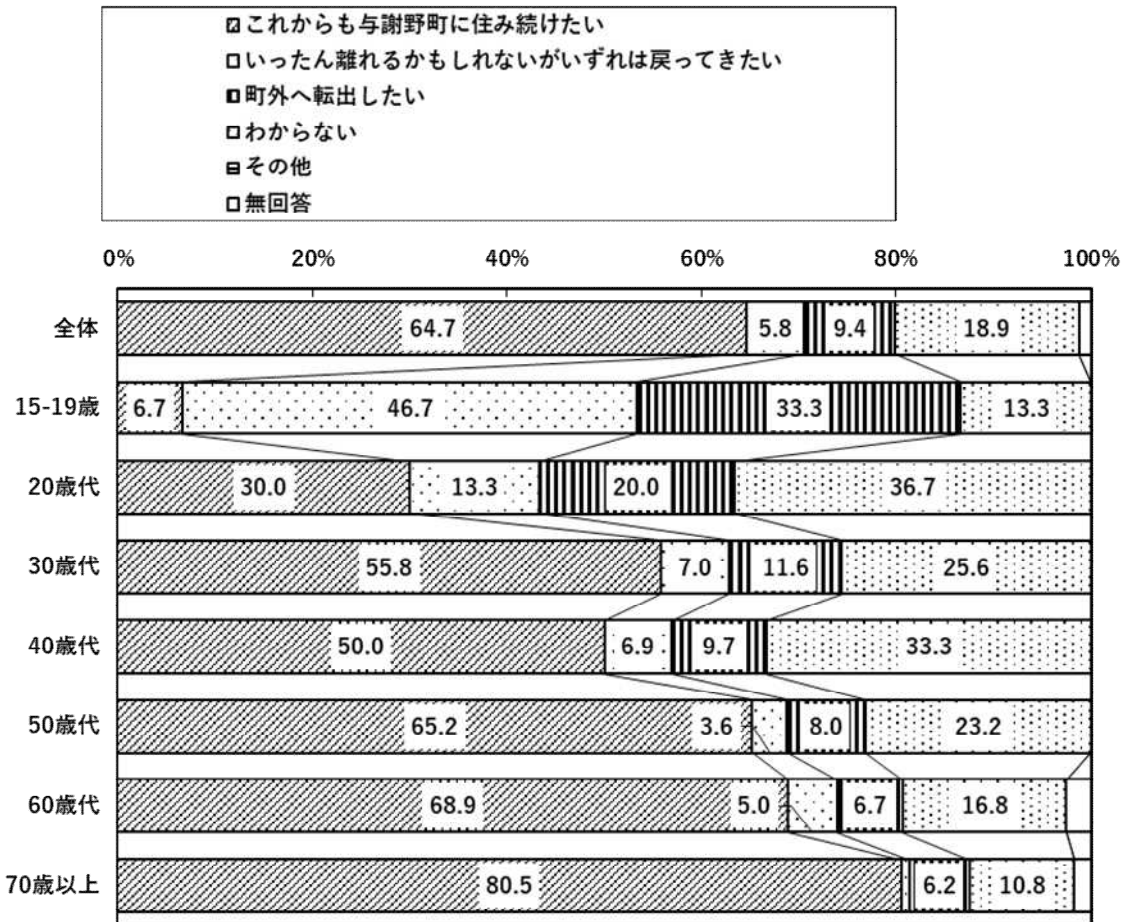
(3) 定住意向

問10 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。《1つだけ選んでください》

若者世代数=103/651

「これからも与謝野町に住み続けたい」が15歳～19歳で6.7%、20歳代で30.0%と全体と比べて少なくなっています。一方で、15歳～19歳、20歳代において「いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい」の割合が他の世代と比べると高くなっています。

(再掲)



(4) 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度

問13 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どのくらい満足していますか。

《すべての項目について1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください》

若者世代数=103/651

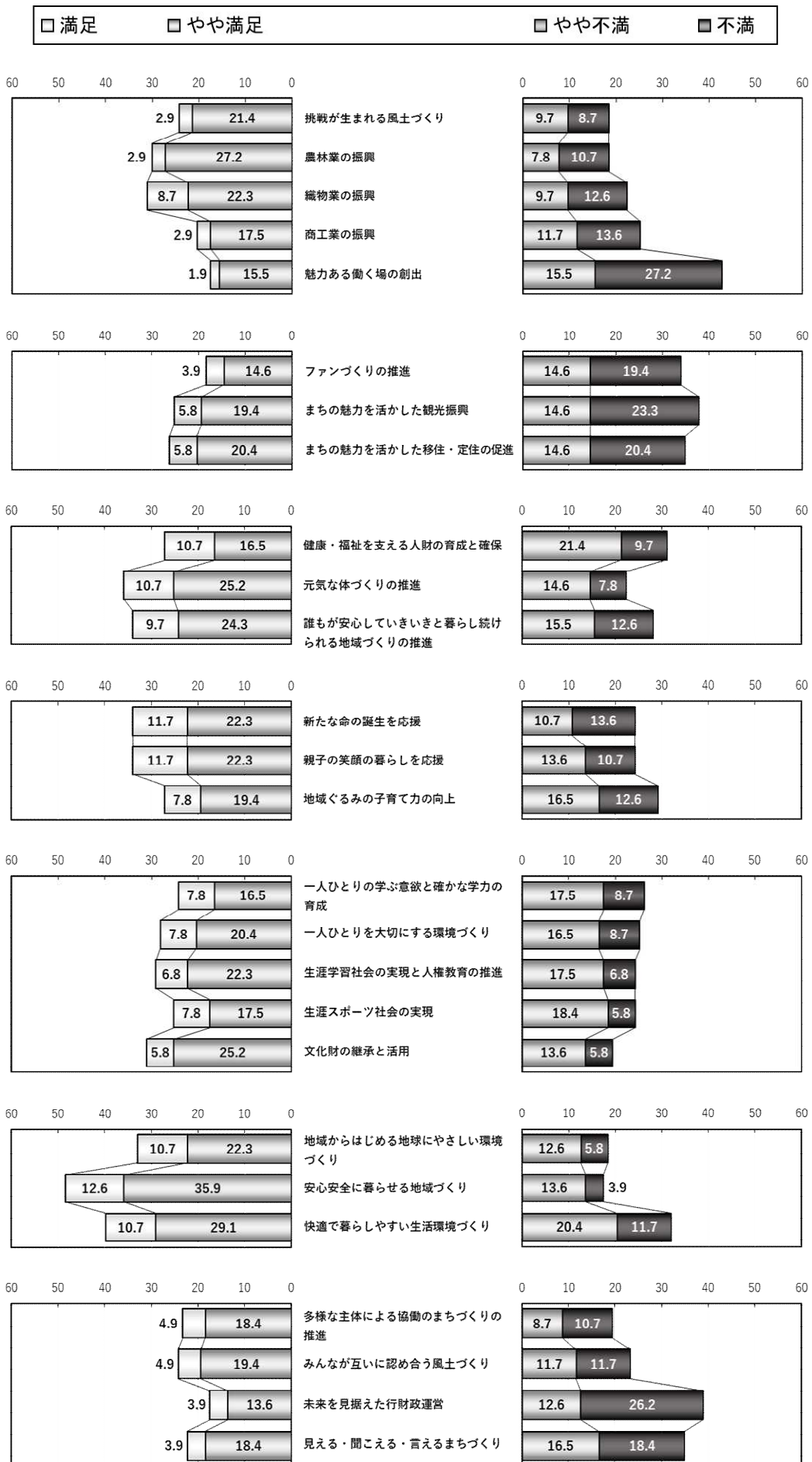
若者世代においては、「満足」と「やや満足」を合わせた割合では、「安心・安全に暮らせる地域づくり」「快適で暮らしやすい生活環境づくり」「元気な体づくりの推進」が上位となっています。

反対に、「不満」と「やや不満」を合わせた割合では、「魅力ある働く場の創出」「未来を見据えた行財政運営」「まちの魅力を活かした観光振興」が上位となっています。

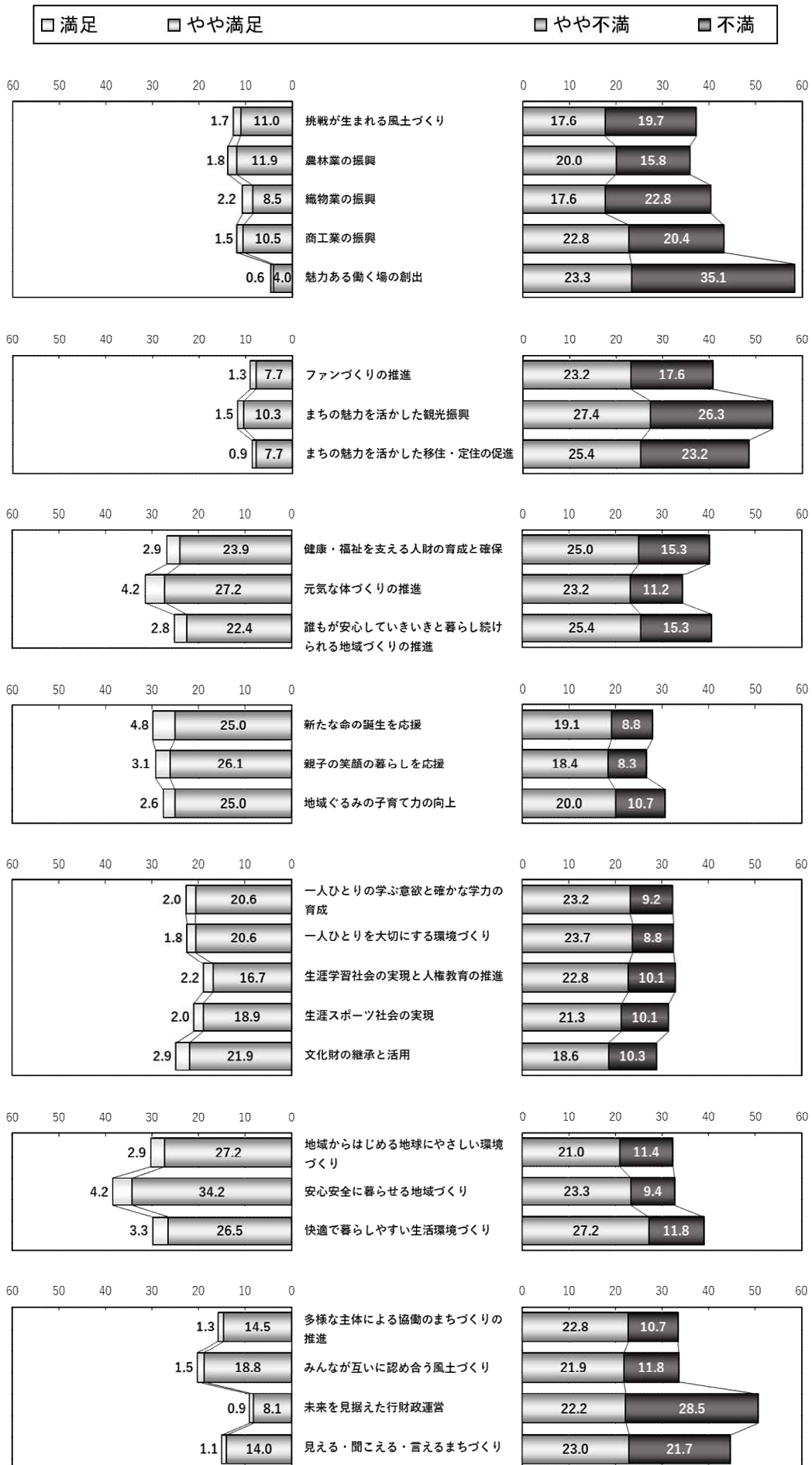
40歳以上においては、「満足」と「やや満足」を合わせた割合では、「安心・安全に暮らせる地域づくり」「元気な体づくりの推進」「地域からはじめる地球にやさしい環境づくり」が上位となっています。

反対に、「不満」と「やや不満」を合わせた割合では、「魅力ある働く場の創出」「まちの魅力を活かした観光振興」「未来を見据えた行財政運営」が上位となっています。

【若者世代】



【40 歳以上】



(5) 特に力を入れるべき施策

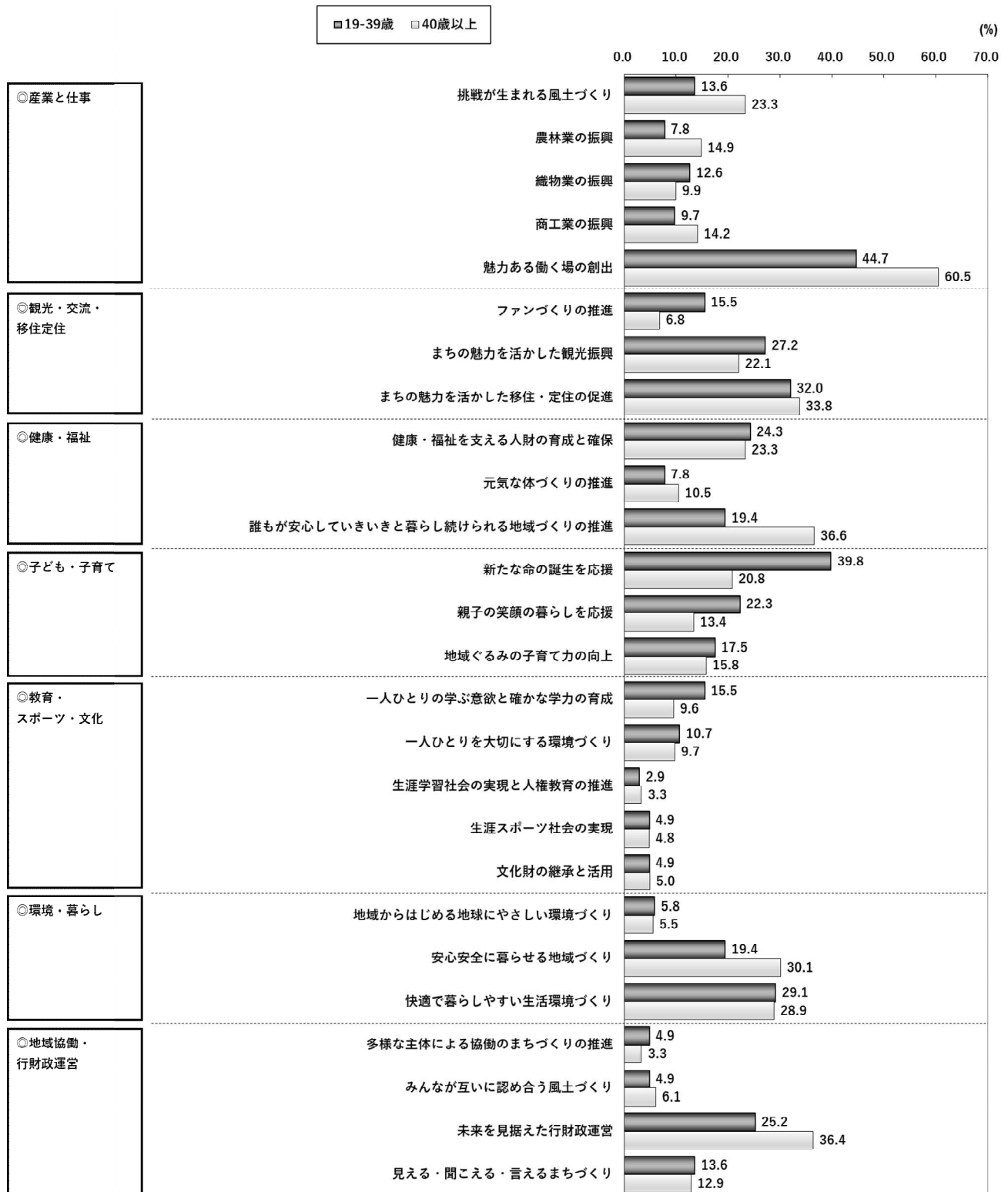
問 1 4 与謝野町がこれから進めるまちづくりについて、特に重要だと思う施策はどれだとお考えですか。《5つまで選んでください》

若者世代数=103/651

若者世代では「魅力ある働く場の創出」が 44.7%と最も多く、次いで「新たな命の誕生を応援」が 39.8%、「まちの魅力を活かした移住・定住の促進」が 32.0%と続いています。

40 歳以上では「魅力ある働く場の創出」が 60.5%と最も多く、次いで「誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進」が 36.6%、「未来を見据えた行財政運営」が 36.4%と続いています。

若者世代の傾向として、「子ども・子育て」の分野については、すべての項目が 40 歳以上を上回っており、関心が高いことがうかがえます。



これまで見てきたとおり、全体と若い世代との回答に違いがあり、世代に応じた施策の実施が住民の満足度の向上に有効となり得る可能性があります。

また、回答者数が、アンケート票を配布した年齢構成や実際の人口の年齢構成と比較して少ないことから、本アンケート以外の方法で若い世代の意見を聞くことにより、本アンケート結果を補完することができる可能性があります。

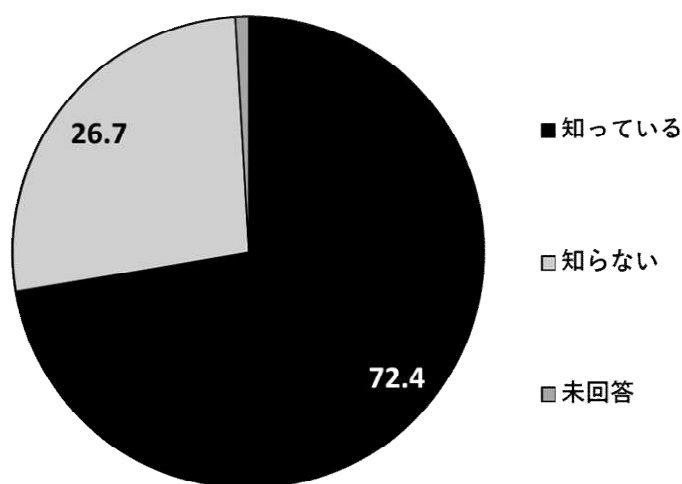
7 与謝野町のデジタル化等の取り組みについて

(1) コンビニ交付サービスについて

問 15 マイナンバーカードを利用してコンビニ等で住民票の写し、印鑑登録証明書が発行できること（コンビニ交付サービス）を知っていますか。《1つだけ選んでください》

全体数=651

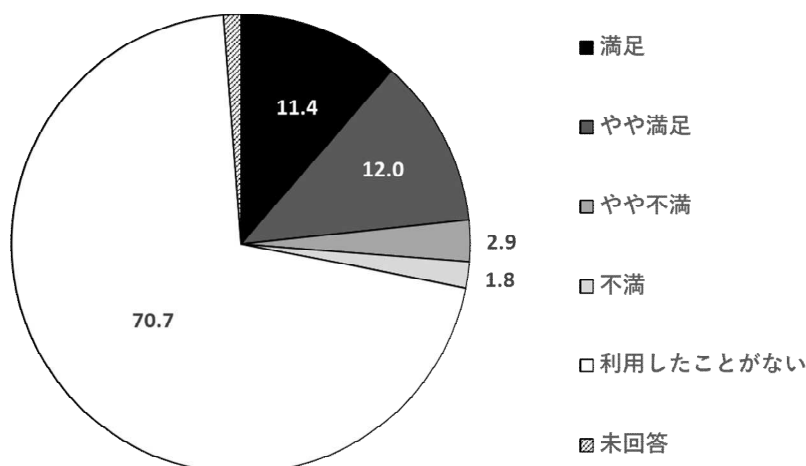
コンビニ交付サービスについては、7割以上の方に認知いただいている一方で、26.7%の方が「知らない」と回答されており、引き続きサービスの周知に努める必要があることがわかります。



問 16 コンビニ交付サービスの満足度を教えてください。《1つだけ選んでください》

全体数=651

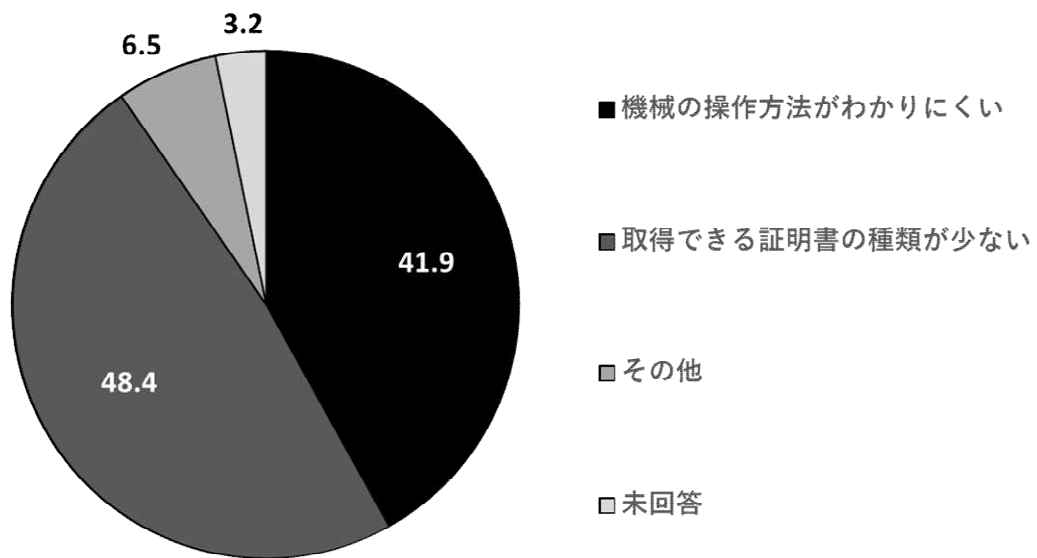
「満足」「やや満足」を合わせた 23.4%の方に満足いただいている一方で、利用したことがない方が7割以上あることから、利用機会を増やす取り組みが求められます。



問 17 問 16 で「3.やや不満」「4.不満」と回答された方にお伺いします。その理由はなんですか？
《1つだけ選んでください》

やや不満・不満の回答者=31

約半数の方が「取得できる証明書の種類が少ない」ことを不満に思っておられることがわかります。今後、取得できる証明書の種類を増やす取り組みが求められます。

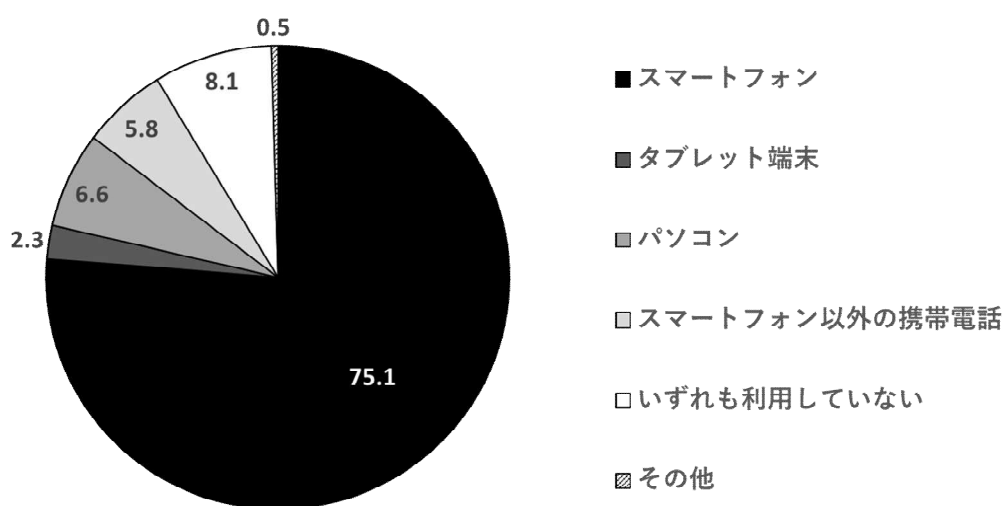


(2) 行政サービスのデジタル化について

問 18 日常的に利用している情報通信機器を教えてください。《利用頻度が最も高いものを1つだけ選んでください》

全体数=651

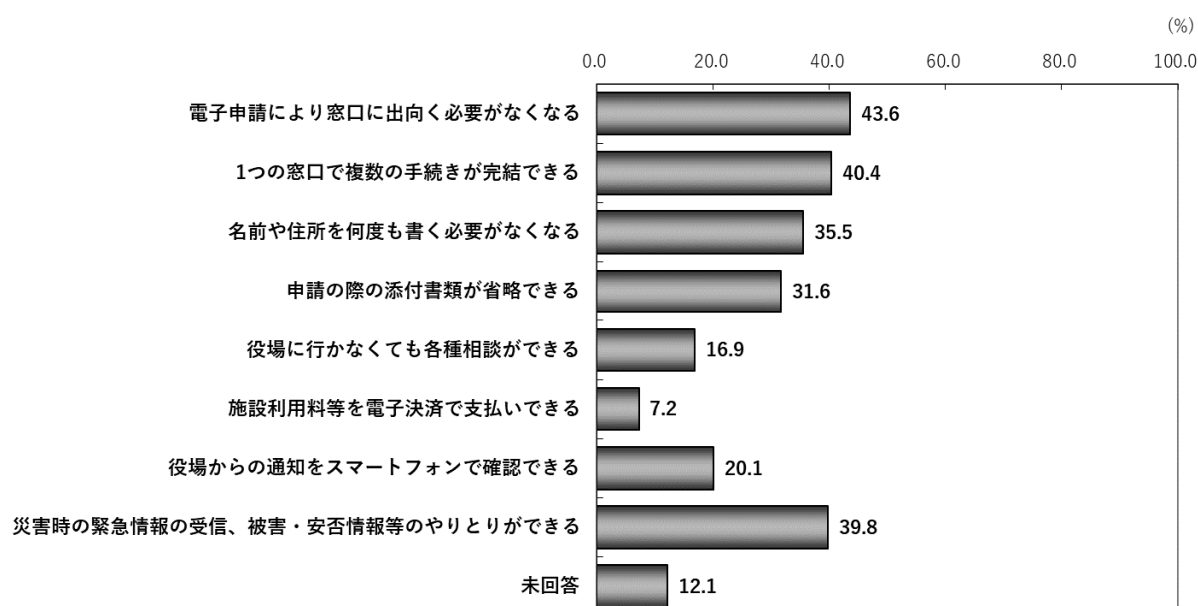
日常的に利用している情報通信機器としてスマートフォンが 75%を占めており、今後はスマートフォンを活用した行政サービスの展開が求められるところです。



問 19 行政サービスのデジタル化に期待することを教えてください。《3 つまで選んでください》

全体数=651

「電子申請により窓口に出向く必要がなくなる」の割合が最も多く、次いで「1 つの窓口で複数の手続きが完結できる」「災害時の緊急情報の受信、被害・安否情報等のやりとりができる」の順に、デジタル化を期待されていることがわかります。



8 自由意見

与謝野町のまちづくりについて、自由記述のかたちで意見が寄せられました。

総合計画の基本目標に準じて区分・整理すると、以下のとおりです。

なお、個人名や企業名を特定できるものは、修正又は割愛して掲載しています。

【分野 1 一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち】に関する意見

- 歴史、文化をもっとPRして欲しい。(日本中、世界中に)伝統産業の継承を頑張って欲しい。(女性,70歳以上)
- 与謝野町のお米がおいしい。TVで芸能人がお米を依頼して作ってもらっていると見た事がありました。芸能人から農業、農作物で「与謝野町」の地名度を上げる事がもっと出来たらよい。アニメなどのコラボ商品作り、雲海ツアーなど、きかくして町に来て泊まってお金を使ってもらなど。(女性,40歳代)
- 与謝野町には産業がない。近隣の町に働きに行く。産業の育成をして欲しい。また、丹後地域に学校がない。高齢者施設が沢山ありリハビリをする高齢者も沢山いる。リハビリの専門学校を作て欲しい。看護学校は府立看護学校があるから不要。(男性,40歳代)
- 年齢に関係なく多くの人が働ける場所を作てほしい。(女性,70歳以上)
- 年寄りが増えてなかなかむずかしいとは思いますが、皆が笑顔で暮らせる町造りを希望します。まずは、若い人が暮らせる様に、仕事を若い人にあげて下さい。(女性,70歳以上)
- 働ける会社、若い人が住み続けられる町づくりを期待しています。(女性,60歳代)
- 町外からの企業等の支援は必要だと思いますが、町内在住者も同じく支援をしていくともっと色々な店が出来て地域の活性化が少しでも進むのではと思います。(男性,40歳代)
- 進学等で町から出た人がUターンするためにやっぱり魅力ある働く場があるといいなと思います(女性,70歳以上)
- 織物業(和装)にいつまでもしがみ付かない。(男性,60歳代)
- 若者が定住出来る町づくりは働く場の創出以外にない。これが出来なければ与謝の町はダメになる(男性,70歳以上)
- 若者が仕事につける場所(工場,会社等)を誘致してほしい。(女性,70歳以上)
- 今まで社会参加がなかったので全体的に不十分な解答になりました。行政サービスのデジタル化が不安です。不勉強の性だと思いますが、やはり不安が残ります。未来の子育ては大変応援したいですネ。若者が安心して生活できるよう職場の確保(女性,70歳以上)
- 高齢化社会で与謝野町に子供たちが少ないのが悲しい。若い人が働く場所を増やしてほしい。(男性,70歳以上)
- 機業に変わる産業を誘致し、一人一人の所得が上がり購買力が増え、商業が発展し納税も上向きになる(男性,70歳以上)
- もっといろんな仕事(働く場所)がないとすごく不安だし仕事(働く)場所があっても交通しゅだんがなければ行くことができないので、みんなが働けて(買い物などもその一つ)くらしていける街づくりを期待します。(女性,50歳代)
- 65~75才の人材の活用。企業誘致の推進。阿蘇海の浄化(阿蘇海を観光資源に)(男性,60歳代)
- 60歳をすぎても、短時間でも良いので、何かと働く場所があったら良いと思う。若い人は、もちろん仕事は、必要ですが、年をとっても働きたい気持ちがあれば、働く場所も必要だと思う。生きがいになると思う。(女性,60歳代)
- 人口がどんどん少なくなっています。若者の働く場所作りを推進してほしい。高校、大学を卒業するとみんな町からはなれる。せっかくの人材を地元に残す用に。(男性,70歳以上)

【分野 2 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち】に関する意見

- 与謝野町に帰省する子や孫達、遠方から遊びに来る親戚や知人達が、親子で大喜びをして遊んでいた加悦 SL 広場が閉園され、とても残念に思っていました。しかし、最近の町内の情報を見聞きする中で、来年開業 100 年を迎える丹後鉄道与謝野駅の周辺まちづくり計画が進められていると知り、大きな期待を寄せています。その計画の中に駅の南側の田園に、新 SL 広場を作ってほしいとの思いがあります。京都北部への観光客が、天橋立や伊根、京丹後市への行き帰りに、子供達を連れて与謝野駅にも立ち寄ってくれる素敵な観光地になるのではないかと思います。また、与謝野の地で子育てをしたいと、思う若者の夢を膨らますことへも繋がるのではないのでしょうか。更に、与謝野を支えてきた文化財の継承と活用という、地域の創る大きな目標へも繋がります。では実現を期待しています。(山添町長様にこのようなお手紙を書こうと思っていたところに、この町づくりアンケート表が届きましたので、思いを書かせていただきました。)(女性,70 歳以上)
- 働く場所を増やせたり 子供が通いやすい学校作りや空き家を利用して移住や定住してもらるように誘致して活気付けてほしいです。(女性,60 歳代)
- 町外へ転出された方々から与謝野町を応援支援してもらふ施策の検討、ふるさと納税を町外へ転出された方々に積極的に PR の推進(男性,60 歳代)
- 人口の減少が大きな課題であると考えています。やりがいと雇用、出会いについて取り組みを進めてほしいと思います(男性,60 歳代)
- 大学進学などで与謝野町を出た人たちが戻ってきたくならないような町にしていけないといけな。(男性,20 歳代)
- 人口が増えて多ぜいの人が行き交う「まち」であってほしいです。(女性,60 歳代)
- 少子高齢化社会がこれからも続き、人口減少していくが、人口減少を抑制するよりも、その人口でも上手く回せるような順応したまちづくりをするようにしていくべきだと思う(男性,20 歳代)
- 小学校や中学校が会費といって強制的にお金を集めにきますが、年金生活になっても取りに来られるのかと思うとゾッとする。特別会員になった覚えもないのに勝手に会員にされて、こんなことがある町に本当なら住みたくない。転入する時に伝えてほしかった。町も財政難かもしれないが、町民に負担を負わせない町づくりをしてほしい。18 歳でこの町を出ていく(8~9割)子供にお金をかけるより、この町に移住すれば老後も安心して生活ができるというまちづくりがしてほしい。(子供の数よりも老人の数の方が多い町なので)老人が安心して住める町ならば移住者も増えると思います(女性,50 歳代)
- 周りの市町との違いを特色として PR、引越して住みたいと思える町を目指して下さい。そのためには町担当者だけの努力でなく住民を巻き込んだ大きな推進母体(プラットフォーム)を作ることから始めることが大切だと思います。(男性,60 歳代)
- 私は、よくラジオを聞きます。与謝野町のうりこみをもっとしたらいいと思います。もう一つくらい大きなイベントをつくれればいいし、たべものも B 級グルメをつくりもっとコマーシャルをしたらいいと思う。(男性,60 歳代)
- 空家住宅を整理してほしい(女性,70 歳以上)
- 近年空き家が増えているように感じます。防犯の事だけではなく問題は色々あると思います。空き家の有効活用のよい案があればと…(女性,70 歳以上)
- 壊れかけた空家が景観的にも安全面でも気になります。持ち主だけにまかせず、とりこわしも含めた整備が必要では(男性,60 歳代)
- 観光資源では、宮津や伊根に及ば無い分、野田川流域を活かした産業や商業を活性化していくべきだと思います(男性,50 歳代)
- 観光客や遊びに来た人がお金を使ってくれる施設やイベントをどんどん考えて欲しいです。与謝野町が大好きなので町長さん始め職員の皆さん、がんばって下さい!!(女性,30 歳代)
- 観光できる場があるのにお金を落としてもらう場(おみやげ・飲食店等)がなく、来た人にとっても思い出の品がないのは残念だと思います。代わりにスーパー・コンビニのゴミを捨てられ、観光される方が負担となっていることを、もう少し現実的に受け止め仕事・観光地化に力を入れ、

街なみの整備につなげられたらと思いました。又、子どもに関して施設が不十分(療育センターは舞鶴頼み)で子どものためのお店ない町は大体子どもが少ないように感じます(少子化)。給食センターを遠方に移設するよりも、温かくおいしいごはんを提供できるよう考える等、固執せず何事にも住民の生活実態に合わせたまちづくりを考えていただきたいです。(女性,30 歳代)

○観光が点在あり、高速道路が出来たことでよほどの魅力がないと立ち寄ってもらえないので、商工業の発想の工夫も必要かと思います。期間限定で与謝野駅に赤松、黒松が少しとまって春なら桜の木との写真撮影。そして、自ビール飲んで織物の小物販売とかシルクソフトクリームといった若い世代や観光客をとりこむ等。そこに高齢者も一緒に花だん作りとか…。北海道の夕張？がやっておられるのを参考に考えてみました。(女性,50 歳代)

○各、年配層、年齢層、本当の町の住人(高額収入者以外一会社役員等)の意見、不具合事等を聞き、互いの違い合間をうめて、何事にも対処すべきではないか？今の流行に乗るのも良いですが…今までの事柄を地道に行い、やっていくのも良いのでは…所詮、京都の一地方なんで…田舎地味た事やっていても、はずかしくもなく、良いと思いますが…農業以外で他の地域以上の豊かな楽しい町、休日を楽しめるアウトドアも楽しめる町も良いのでは？(男性,50 歳代)

○移住について、単に移住促進地域に補助金を出すのではなく、もっと個性的な売り出し方をした方が良いと思います。移住者からみて促進地域の空き家に引っ越せば補助金が貰える、というのはありがたい半面それだけその地域が有り体にいえば「終わってる」ことを示しているのが丸わかりです。町外から地域を知らない人を呼び込むのだから、終わってるなりに各地域についてもっと特集して紹介した方が良いのではないのでしょうか。例えば温江ならお酒・飲み会好きな住民が多いですよ！年間のイベントはこんなことがあります！お店は山の家やサイサイカンがあります！地域からどんな人に来て欲しいか！等々移住者に地域側から逆オファー的なことをするくらい偏った積極性を出して行った方が確実に移住して地域に馴染む人と呼ばれると思います。補助金自体のシステムは悪くないと思うので、あとひと押しできる個性的な情報を発信するのが肝要でしょう。(男性,20 歳代)

○もともと地元近辺ではあったのですが、近頃転入してきました。海も山もある美しい町で、なかなか気に入っています。そのような強みを活かし、美しい町のままあり続けてほしいと思います。そのために協力できることがあるならば積極的に協力していきたいと思います。(女性,30 歳代)

○まちづくりには、20 代 30 代の世代の定住が必要不可欠と思う。若者が住みたいと思うまちづくり 企業(働く場所)誘致や地域の皆で楽しめるイベントなどで、観光客も参加しやすいものがあればいいのでは？呼び込み企画が難しいですが(男性,50 歳代)

○プール・ちりめん街道等中途半端で他の町の方々に紹介出来ない。阿蘇シーサイドパークの活用も考えて見てわ。橋立が一望できるので縮緬工程(丹工)見学や販売、体験。プール、宿泊、食事等他に無い施設を大手の企業や地元の企業誘致で考えてみても良いのかなと感じます。(女,50 歳代)

○ちりめん街道をもっと活性化させないといけない。老舗ブランドなどへの広報活動を広げて、ヒアリングなども行う必要があると感じる。白のスーツをきたイベントは要らない。イメージが悪い。評判悪い。失敗しているように思う。議員はイベントにも意見を出しているのかと思う。住民の活気がないのに、住んでいて誇らしいと思えるというのはいささか困難であると感じる。田舎は田舎だけではなく、市内との差を埋めることが必要と感じる。市内の企業イベントの誘致と懇親会などの設定、公務員と市内企業との連携、地元企業の市内販路の拡大と地元での認識を高めた地域活動を通した、地域住民の活力の向上を高めることが必要と感じる。真面目にこうした意見をあげたところで与謝野町役場職員による否定的意見に流される慣習も味気ない。与謝野町とまちづくりにポジティブさが低下している原因ともなっていると思います。(男性,30 歳代)

○コロナ渦が終息し、地域での屋外活動やイベント等が再開され町全体が楽しさや元気を取り戻し、町外からの観光客の流入を目指して活気のある与謝野町になる事を強く願っています。少子高齢化、人口減少にさらされている今こそ町民が一丸となって活動できる町づくりを目指していきたいです。(男性,30 歳代)

○40 数年ぶりに地元に戻りましたが、人口減少により町の活力が大きく低下してると感じました。

1. 若者が地元に残りたくなる魅力ある働く場所作り、2. 子育てしやすい環境づくり、3. 移住したい人が多く来れる地域の魅力づくり（男性,70 歳以上）
- ①老若男女どの世代でも利用活用出来る商品開発の取組、②町民の優待サービス、③野田川沿い自転車道を活用し街全体の観光開発、④一字観公園から天橋立題材に描く世代別全国絵画大会などの観光誘致策（男性,50 歳代）
- ・税金等のクレジットカード等(電子マネー)の支払拡大。・独自のアピールするテーマの作成を！
“高級絹織物の故郷”、“後悔しない移住の町”等。・ユーチューブの活用 動画をどんどんUP。・町内出身有名人とのコラボ、PR 町内向けではなく、国内規模で！・宮津天橋高校野球部の支援(町おこしの一環として、甲子園大会出場レベルに！大社高校のようになれば)（男性,60 歳代）
- ・将来を見据えた新規企業への誘致。・町内にとどまらず全国から継続的に魅力を持って町内に足を運びたくなる施設。例えば親子でも楽しめるようなスポーツ施設。大江山か一字観公園に麓から山頂までで初級から特化した上級向けのアスレチックとか（男性,50 歳代）
- ・若い町長さんを主として、地域の活性化(自然を生かした町づくり)。・高齢者の元気な方々を中心とした野菜づくりの指導など(阿蘇シーサイドパークに道の駅設置)。・クラインガルテン設置(他町の方々でも住める)。・少子化対策(住宅の提供等)(移住者受け入れ)。・自然破壊・野生動物の保護・空き家(田舎暮らし希望者へ)（女性,70 歳以上）
- 「与謝野町に行かないとないもの」を創らないと利益(税金)に繋がらない。（男性,40 歳代）
- 「ひまわりスポット事業」はぜひ継続して広めていただきたいです。いつか与謝野町全体が「大ひまわり畑」になって人々の心を明るくすると同時に与謝野町の大きな魅力になってくれることを願っています。各家庭で毎年あたりまえのようにひまわりを育てる、そうならば夢ではないですね。若い人達も住みたくなる、町の花ひまわりのように「明るい与謝野町」そんな町作りを期待しています。PS.個人でも種をいただけたらうれしいです。（記念品は不要）（女性,50 歳代）
- 伝統文化を活かし体験・ふれあいから魅力を引き出す。・繋がるをテーマにしたコンテンツを整備する(駅周辺)。・空き家⇒リモート可能なワーケーション環境整備(小規模イベントスペース兼用)。・朝市等直売所、定期的に地元料理体験教室⇒新しい郷土料理の創造（男性,40 歳代）
- 与謝野町出身の若者が大学等を卒業後地元に戻って働き、定住できる魅力ある町づくり。公害のない工場誘致やベンチャー企業の誘致、外国人労働者と地域住民との交流の機会と場づくり（男性,70 歳以上）
- 住民が住みやすい町を!!学生の通学がとても不便だと感じる。福知山へ通う手段が少ない、京丹後への通学も不便だ。V ターンなどで、働く所が少ない。もっと会社を誘致して若い人達で活気あふれる町にしなければ、すたれる一方だと思う。どこに対しての魅力を発信するかが大事だと思う。（女性,15 歳～19 歳）

【分野 3 みんなが自分らしく幸せに生きるまち】に関する意見

- 高齢者の買い物や友達に会いに行く等の外出の際、もっと気軽に利用できる交通手段があれば、高齢者は外に出て、もっともっと元気に生き生きと過ごすことが出来るとおもいます。（女性,40 歳代）
- 高齢者のゲートボール、カラオケ等の参加の場を増やすことも大事。ですが、時には(2ヶ月に1回でも)草とり、草刈り、に体を動かしてもらう活動も必要だと思う(無償で)堤防等みんなできれいにする町づくりになればいいと思います。（京都府が動かなくても、町民で動ける様に申請してほしい）（女性,60 歳代）
- 高齢者が多く、町内の草取り草刈りは大変です。それも暑い時、歩行が困難な場合、72歳でも許して欲しいです。お金を出して、変わりの人を紹介してもらえるシステムが欲しいです。体調、80歳以上で悪い方は休まれますが、他の人に負担もかかり、休みづらいです。町で考えてほしいです。（女性,70 歳以上）
- 現在は情報の世の中で学ぼうと思う意思があればどこからでも学び取れる時代だと思います。私 AI(人工知能)を生した政策は良いかと思われます。政府は人生百年健康長寿と言われています

が、私は心と体が健康幸福寿命をめざしております。未来は各自、一人一人が自分を見つめ向き合う良いチャンスだと思われます。若いも若さも自分をしっかりと生きる事、命を大切に…、現在いまだに戦争が続いておりますが、早く終わってほしいものです。国民は誰もが願っております。人道、学校教育に良くないと思う。安心した生活を願う。(女性,70 歳以上)

○介護の仕事をしているものです(訪問)。年々、少子高齢化が進む中で。職員の人材確保が非常に厳しい状況になっていると実感しています。必要な介護サービスが必要な方に行き渡らない…そんな状況が近い将来現実になり得る…そんな不安を感じています。施設入居が待機状態のなか訪問介護は必要なサービスです。今後どうなっていくのでしょうか…一抹の不安をおぼえます。(女性,50 歳代)

○クアハウスというとてもいい施設を町が運営しているのだから、町民の健康面を最重視し実質赤字でも将来的に高齢者の健康につながっていく様な取り組みを考えてほしいです。(女性,60 歳代)

○①北部医療センターの充実と横に老人ホームの設立(町が運営してはだめ)、②出雲大社厳分祀に観光客の誘致(一の宮神社に来るお客)、道路整備の必要性、町が関われないので第三者に、結婚して少子化対策(男性,70 歳以上)

○・町内にある北部医療センターは丹後医療圏の中核病院として、早急に整備を前倒しでお願いしたい。・実質公債費比率が全国 2 位は深刻。政策の抜本的改善を望む。(男性,70 歳以上)

○・敬老会がなくなったようですが、70 才以上を敬老会へというのに抵抗があります。何もないのはさみしさも感じます。広範囲の呼びかけではなく、同年齢にという集まりがベストですが、70 才~2.3 年(73 位)までとか年齢幅を 70 才~75 才まで、75 才~80 才までとか区切った集まりがあってもいいように思います。是非ご検討下さい。・各地域で健康増進に繋がるように身体を動かせるような機会が作っていただけると嬉しいです。(女性,70 歳以上)

○各地区に病院があれば助かります(女性,70 歳以上)

【分野 4 つながりで笑顔を未来につむぐまち】に関する意見

○年々、夏の気温が上がっているので子供たちの登下校についての安全(熱中症対策や、夏だけバス通学など)をもう少し考えてほしいと思います。(女性,30 歳代)

○町の行政が与謝野町全体を見ていない。町議会も全体を見ていない気がする。今何が一番必要か見てほしい。子供達が、安心して生活できることを、大人は我慢することをした方が良い。(男性,30 歳代)

○赤字をなんとかして、子育ても京丹後の方がいい。土日も全日保育あるし(女性,40 歳代)

○人口減少への不安、若者に限らず働く場所が少ない。交通の便が悪く人や場所との交流が難しい保育・教育・高齢者の福祉対策はほぼ満足(女性,70 歳以上)

○小学生の長期休み(夏休み等)に利用できる場所がない地区があるので、全地区にほしいです。(キッズステーションのような場所)学童に入れない子どもたちは日中過ごす場所が少ないです。(女性,40 歳代)

○小学生のランドセルについて、最近のランドセル商戦は過熱をし、非常に価格が高くなっていて家計の負担が大きい。高学年になればとても小さくなって使い勝手が悪い。他の市町村でランリユックを採用している学校がある。サイズも 3 つあり、買い替えてもランドセル一つよりやすい。こどもたちの成長にあわせて使える。ランドセルの補助よりも違う方向性も必要ではないでしょうか。(女性,50 歳代)

○住民への行政サービスも含め色々な住民からの要望をどれだけ実現しているのか等に高齢者の割合が増える中その方々に対する優しいサービス、活動できる場や環境の整備の実現と共に若い人達の町外への流出を防ぐ、U ターンして暮らしの場をこの町に求めようと思える為の施策が考えられれば特にこの町で結婚、出産、子育てをしたいと思える様な施策があれば(男性,70 歳以上)

○子育て世代に明石市のようなオムツ・ミルクの配布等はできないのでしょうか？まちの未来を考える際、人口減少の原因や暮らしやすい環境を作る為にも大きな事をしていく必要があると思います。ちゅうちょしては、なにも始まらないと思いますので子育ての事だけではなく住みた

- いと思える(若者が)まちづくりをしていてほしいです。(女性,20 歳代)
- 子育て世代がもっと子育てしやすい、もっと子どもを生みたいと思えるような町づくりをして下さい。医療職の夫婦ですが、共に夜勤ありフルタイムで働くことができず退職しました。若手の医療職離れが多いです。こんな状況で地域の医療が支えられるとは思えません。疲へいしています。(女性,30 歳代)
- 子育て世帯への支援がすくなくすぎる。もう1人、子を産みたくても支援(お金)・補助が少なく産めない方がいるのをよく聞きます。人を増やし、地域を活性化させる為に、子育て世帯への支援を第一に検討して頂きたいです。(保育所の未満児クラスの保育料など)(回答しない,30 歳代)
- 子育てへの経済支援の充実、役場に行かなくても、証明書系はコンビニで発行できるようになってほしい(女性,20 歳代)
- 子ども達がチャレンジできる環境づくり(子どものじゃまをしない)そんな町になれば、人も集まると考える、お願いします、年寄り子どもを大切にしてほしい(男性,60 歳代)
- 結婚してない若者が増えている様に思います。結婚し安心して子供を産み育てることができる町に子どもが増えると町も元気になるし、町を出た若者が町で働けることが町が活気づくことにつながるのではないのでしょうか?移住者が増え。子供が増えて活気づいている町があるとテレビで放映していました。(女性,70 歳以上)
- 岩屋の住民です。先日孫が学校帰りに熱中症になり歩けなくなり意識がもうろうとなり通学路の途中の住民の方々に助けられました。片道 2.8 kmの道のりを毎日通っていますがこの異常な暑さの中通っておりますが、こういった事は放置でしょうか?車で迎えもダメだと言われ、バスを出すなりしてもらわないと命の危険もあります!このような事象を放置して何がまちづくりでしょうか?住みやすい、子育てしやすい事を謳うならば、こういったことから改善してください!新しいことを手がけることがまちづくりではない!ってことを早く気づかれては?って思います。(男性,60 歳代)
- ご高齢の方が多いいので仕方ないが、経済的な理由でこどもが育ちにくい環境にあると思いますので、改善していただけたら幸いです。(給食費、医療費の無償など)(男性,20 歳代)
- お金が産まれる町。仕事が産まれる町。子供が産まれる町。(女性,40 歳代)
- 1.人口減少をどうしたら防げるか。2.結婚相談、結婚祝金、出産祝金、2 人目、3 人目に 50 万とか 100 万を祝いする。3.教育費全般(給食費、医療費等の無料化)の制度を強化すること(男性,70 歳以上)

【分野 5 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち】に関する意見

- お給料とても安いのに学費はとても高いので大学等の奨学金を利息なしで貸してほしい。(女性,40 歳代)
- 若い人を支援することで将来につながる取り組みを期待しています(男性,50 歳代)
- 暑さ、寒さ、雨、熊など、安心して外で活動し楽しむ場がないので、空調設備等が整った施設をつくってほしい。駅近くであれば、多方面から人をたくさんよびこめると思う。(女性,40 歳代)
- 子供の運動施設(プール)(男性,50 歳代)
- ・高齢化が進むこの町にデジタル化は必要ないのではないのでしょうか?むしろやり方がわからない人が増えて、混乱するだけではないのでしょうか。流行りにのるだけでなく、本当にこの町に必要なか考えてほしいと思います。・小学校と保育所が多すぎます。統合してスクールバスを使えば人件費にかかる税金を削減できるのでは?(女性,20 歳代)
- 電車を 1 時間に 1 本は学生にとってとても不便です。そして、少子高齢化を改善する取り組みをもっと増やして欲しいです。あと、関係ないのかもしれませんが、市や学校のお金が無いため、授業中以外エアコンを付けてくれない毎日です。早く学校についても、エアコンを付けてもらえません。授業中エアコンが付いていない事も多々あります。高校生の部活動で良い成績をとった人に特典がある地域はいいなとおもいました。(女性,15 歳~19 歳)

【分野 6 美しくて住みやすい安心安全なまち】に関する意見

- 与謝野町の中心に位置する野田川地域が全く活性化しない。加悦地域、岩滝地域はある程度の施

設が整っているが、野田川地域のみ何も変わらないどころか衰退しているように思う。楽しいイベントがどんどん無くなっているように思う。岩滝のシーサイドパーク、加悦の道の駅など人が集まりイベントがしやすい施設が無い。子育てに関しても野田川以外の地域には新しいこども園が建設され綺麗な施設で過ごせるようになっている。野田川地域にも建設予定とあるが、反対意見が多いのかいつになるのかわからない、本当に建てるのかわからない状態。小学校に関しても、加悦はバス通学が開始されどんどん進んでいる。色々な規則があり難しいのはわかるが同じように税金を徴収されても住んでいる地域でここまでの差があると不満に思う。(男性,30 歳代)

○免許を返納してから近くのスーパーもなくなり日常の買物に困っている(男性,70 歳以上)

○無駄なことを省き過疎化対策(男性,70 歳以上)

○魅力のある町なので、新規事業展開や文化継承の支援を町が行い、ずっと永く続く町になってほしい。どの地域にも平等にお金をかけてほしい。(女性,20 歳代)

○毎日定時に交通網を利用出来ることを望みます。それには、ガラガラのバスは必要有りません。税金を使って CO2 をはこんでいるように思えてなりません。何とかしてください。(男性,70 歳以上)

○買い物などの日常生活が便利なのは町の住みごちに即、反映されると思うのですが現在、岩滝の食料品店(コンビニ、ドラッグストアを含む)は男山地区に集中していて、岩滝の中心に住んでいる、特に車などを所有していない者にとってはとても不便です。弓木のフクヤ、立町のにしがき、建物は古くてもとても便利だったので、そのままなんとか継続してほしいです。(女性,50 歳代)

○年をとっているので、あちこち(野田川、加悦)の窓口に行くのが大変なので何とかしてほしいです。(女性,70 歳以上)

○誰もが安心して生き生きと暮らせる自然豊かなまちが存続できるようにして欲しい(女性,60 歳代)

○送迎バスの利用は、当日ではなく数日前にデジタルを活用して申し込むことに高齢や、機械になじめない対象者は頭から利用をあきらめている。発想のレベルに不安。(男性,70 歳以上)

○草が多い所をきれいに整備して安全に行けるようにしてほしい(女性,15 歳~19 歳)

○総務課・防災危機管理対策室 御中 NHKTV 気象情報において気になっていることを以下のとおり記載します。大阪放送局からの気象情報の放映において、近畿圏中心の地図をもって注意報・警報等が市町村区域(白線)単位で色塗り表示されますが、本町の阿蘇海沿岸は全て宮津市域となる線引きがなされています。少し前になりますが『宮津市には波浪注意報が発表』で、画面地図の宮津市域を山吹色に着色されましたが、与謝野町の海岸域も宮津市として色表示をされました。以上、市町村区域の表示間違いで住民生活に影響を及ぼすことがないかと思い記載しました。なお、京都放送局からの同図市町村区域の線引きは問題ないと思います。(男性,70 歳以上)

○水害にあいやすい住居環境の為、日々安心出来ない。何につけてもここを改善してもらわないと、生活が落ち着かない。移住・引っ越しも出来ないし、物置設置等、ささいな事で流されるという不安が付いてくるので、出来ない、現に流されるので…(女性,50 歳代)

○住み易い町＝住みつけたい町、地元事業者が展望を描ける町、互いの尊厳をみとめあえる町＝生活弱者が生き生きできる町、若年者が定着できる町(居住し働くことへのモチベーション)(男性,60 歳代)

○高齢化する社会において、健康面の支援と生活利便性の向上をお願いします。病院への丹海バスが運行されていても乗車できる環境が整っていない、丹海バス停までの移動手段を整えてください。高速バス、丹海鉄道への接続も改善されたい(女性,70 歳以上)

○高齢につきこれから先与謝野町が明るい楽しい美しい町である事を願います。20 年先 30 年先 50 年先も…(女性,70 歳以上)

○公共交通機関(特にバス)をもう少し増やして欲しい。また、弓木のフクヤや、にしがき岩滝店が閉店したために、近くの住人(特に高齢の方)は近くで買い物ができる場所がなくなってしまってとても不便であるため、日常的に利用できるスーパーをつくってほしい。(女性,15 歳~19 歳)

○交通の便が少なく、公共交通機関が物足りなく感じます。バスであれば小さいものでもいいので 1 時間に 1 本は欲しいです。また、雇用を増やすために企業誘致をして頂きたいです。(女性,15

歳～19 歳)

- 娯楽施設を増やして欲しい！ピザ屋さん、大衆食堂、ケンタッキー、回転寿司、町営プール、バスの時間を遅くまで運営して欲しい！（女性,50 歳代）
- 岩滝小学校前の公衆トイレが掃除されたあとでもひどく汚い。そういうところから良くしていけばいい町になると思います。（男性,50 歳代）
- 岩滝には阿蘇シーサイド、野田川にはフォレストパークがあります。加悦には、大江山運動公園もありますが、岩滝や野田川にくらべ遊具も少なくハチも多く、危険な場合(不審者の出現)の不安もあります。孫をつれて行く気がしません、加悦にも岩滝と同じような遊び場がほしいものです。（女性,60 歳代）
- 飲食店等が少ない様に思いますので、食事処となる場所があったら良いと思います。男山川の草や土砂がたまりすぎていると思う。（男性,60 歳代）
- ミニストップ前の歩道をなおして下さい（女性,70 歳以上）
- バスの回数が少なく、近くで買い物のする所もなくなってきて、年寄りには大変不便。福祉の面は充実していると思う。私自身も今楽しく健康体操にはげんでいます。（女性,70 歳以上）
- チャンネルによりデジタル化の講習(繰り返し行う)（男性,70 歳以上）
- ゴミ袋(むらさき,青,白)小さいサイズがほしいです。缶やビンはすぐに一杯にならない他の地域はゴミ袋ではなくコンテナを使っている。袋代がいらないので考えてほしい（女性,70 歳以上）
- ゴミの分別をもっと気楽に、簡潔にできるようにして欲しい。周囲にもゴミの分別が面倒という理由で転出している方や、入ってこない方もおられます。（男性,20 歳代）
- お盆のごみ(燃えるゴミ)の収集は休まずしてほしい(ガレキ・プラのゴミ収集は休みでもかまわないが)（男性,50 歳代）
- 宮津与謝クリーンセンターでのごみ処理について宮津市と与謝野町では分別が違います。宮津では、困った時の『赤袋』と言い、分別に悩む時は全て赤袋に入れるとされています。それをクリーンセンター職員が手作業で再分別(＝費用負担)しています。整合性はなし(男性,60 歳代)
- あらゆる分野で統廃合が進んでいるように思いますが、メリットよりデメリットを大きく感じています。もっと住民の実情や気持ちに寄りそい、暮らしが豊かに感じられる整備を望みます。高齢者にとっては年金のみの収入源が少ないのに物価は上がりサービスは低下し、生活水準も低くおさえられている実情です。心豊かにおだやかに暮らせる町づくりをお願いしたいです。（女性,70 歳以上）
- 1 道路整備の不備、男山～大宮間、交通量が多いのに道路幅が狭い。2 除雪の悪さ、近年、降雪量が少ないからこそ、降った時の整備はしっかり行って欲しい(事故多発)。3 近年道路から白線が消えている、保育所前の横断歩道 交差点での停止線の位置、夜間 外灯走行も少なく走行が困難 住みよい町づくりため 事故防止ため 白線の整備をよろしくお願いします。4 雨の日の子供たちの遊び場として、体育館の開放が出来ればうれしいと思います。5 クアハウスでのスイミングスクール開催を願っています、せっかくの場所を活用してほしいです。（女性,60 歳代）
- 1. ヒナンの場合、早くヒナン場所に行けるように手配してほしい。2. あき家をどうかしてほしい。不安(台風等の場合)（女性,70 歳以上）
- ・無料(高齢者)の方に限らず無料のスポーツジムが欲しいと思ってます(希望)です。・若者(1 人でも)多くの方の(40 代以上)の方の職も増やして欲しいです。職活が出来る町づくりです。・大型ゴミの回収希望です。(半年に一回)のペースで。免許がない方では、大型ゴミの捨て場まで運べない為 大型ゴミの回収定期的に来て欲しいです（女性,40 歳代）
- ・「森の保育園」で他地域から来た孫がお世話になりありがたかったが道路が住宅街で狭くこわかった。・福知山行きバスの減便は残念。病院行きのバスに便乗するとか車を小型化するとかできないのだろうか。・除雪してもらえるのは誠にありがたい。春、雪解けに道路縁が散らばり水路に落ちたのを取りのぞいたり、草刈り時刈にあたって困る。・のんびり運転マナーでひやりとすることが時折ある。曲がる直前にウインカーを示す。左右確認せずに又ーと出てくる車。1 7 6 号線上の店から出入りは恐ろしい。（女性,70 歳以上）

【分野 7 住民が主人公となるまち】に関する意見

- 与謝野町は町民に「町づくり」アンケートをするまでにまず、職員の「人づくり」からしてほしい。そして第一に若い人達がいつまでも安心・安全に暮らせる町にしてほしい。今一度与謝野町、伊根町、宮津市の合併を望む。「三町よれば文殊の知恵」名称「京京都」（回答しない、未回答）
- 与謝野町は財政赤字と聞いた事がありこのまま、この地で生活し続けていけるのか少し不安があります。後 20 年はこの地で世話になると思うので全てに満足出来る様にと願います。（女性、60 歳代）
- 与謝野町の将来が危ぶまれます。（人口減・少子化・財政難など）負の遺産の整理が必要。旧野田川町は、今でも小学校が 4 校残っていると聞きます。統廃合し、旧 3 町 1 校ずつにしスリム化を図り、維持費の削減を。クアハウス・古墳公園赤字施設も大きい企業もないし、ちりめんも衰退しており、税収も見込めないのなら、一般企業と同じく、経費削減に努め、歳出を押さえるしかないのでは…（男性、40 歳代）
- 役場庁舎の統合、クアハウスの廃止等による経費削減（男性、50 歳代）
- 報道で実質公債比率が全国ワースト 3 と表面化しても、のだがわこども園・給食センターなど主婦感覚とはかけはなれた予算で町の財政をしっかり立て直してほしいです。（女性、70 歳以上）
- 年よりの意見より若い人の意見が取りやすい町にしてほしい。コレから町を支えて行く人だから（女性、40 歳代）
- 日頃のまちづくり行政にご尽力いただき、心から感謝します。町長も見聞や交流を広めるために多くの方々との関わりを持たれていることも素晴らしいと思います。ただ、その交流や見聞が、ご自身の地位の安寧に使われているように感じてなりません。少なくとも、もっと多くの町民がそういった場に関われるようにする必要性があると思いますし、もっと街の発展に寄与している実感がある必要があると思います。よくわからない人に多額の報酬を支払うなら、少なくとも住民票を移してもらうとか、事業拠点を町内に設置してもらうとかで、きちんと町に還元してもらうようにしないといけないのではないのでしょうか。ノーリスクのコンサルなんて何の役にも立ちませんよ。今後も与謝野町の発展のためにご尽力いただける事を期待します。（男性、40 歳代）
- 町民みんなに必要な事に税金を使って頂きたいです。（女性、50 歳代）
- 町民に取り組みがどんなことしてるのかももう少しわかりやすく周知できるようにして欲しい。道路脇の雑草をもう少し早めに除草して欲しい。（男性、40 歳代）
- 町長三期目なのに方向性が見えない（男性、40 歳代）
- 町政がわかりにくい。設問一つ一つも知らないことばかりだった。高齢化を見据えたまちづくりがみえにくい。生産人口の世代の負担を軽減できるようなまちづくりをして欲しい。（女性、30 歳代）
- 町の目指す方向性が理解できない。今までの町長は曲がりなりにも見えていたように思う。高齢者にも理解できる親切な説明が求められる。若者受けするだろうが、高齢者には NO。町民は若者でだけで無い。むしろ高齢者の方が多いのだから、もっと広く親切な町政をせよ!!（男性、70 歳以上）
- 町がやっている事は、数十年前の計画でまったく現在に合っていない。野田川保育園の問題。なぜ人が集まっている近くに作らないのか？不思議！同じ通園させるのならつばきに行きます。石川なんて意味なし！SL もただかざっておくだけ？クラウドファンディングも知りませんでした！同じするのなら北部で第 2 梅こうじにしたら、まだ SL 広場に SL 有りますよね？これこそ観光に利用したら！宿にアレンジするとか？短い間でも走らせてアピールする。なにもかもやりかけは、なんとかなるが続かないのがだめなのでは！後は知りません、わかりません！神社のキャラクター作って発信する！などそうすれば若い人が集まるとか！古墓のフィギュアをガチャで作って集めるファンを作るとか！アイデアはいっぱいあるのでは。じじばかり集まって頭で照らしてもなにも出ないし進まない！若い子のアイデアをもっと集めチャレンジする！役場の各課もう少し町民の顔を見たら！（女性、60 歳代）
- 地域のまちづくりの様子が具体的に分かりにくいなと思うことがあります。いろんな面で共有できる工夫をしてほしいと思います。（我が家は、KYT を通していなく情報がはいりにくいこともあります。そのような人達にも伝わる工夫をして頂きたい）よろしくお願いします。少しでも変えて頂いたら嬉しいです。（女性、60 歳代）
- 窓口で職員さんの笑顔を見るとホッとします。何もかもネットで終わられる社会は便利だろうけ

- ど、何となく日常風景がモノクロのように感じて寂しいかもです。なにげないやりとりができる窓口が何らかの形で残ったらいいなと思います。(女性,70 歳以上)
- 小さい田舎町でありますことは、素晴らしいことだと思います。あまり背のびや、高望みをせず、身の丈にあった行政を心がけていただきたい。(男性,70 歳以上)
- 住民票のコンビニでの交付はとてありがたいです。(男性,30 歳代)
- 自分にできることを考えて、与謝野町のために自分も尽力したい。そして、与謝野町を守り次の世代へ引き継ぎたい。(女性,50 歳代)
- 自然、文化、林業など今在る物をちえを出して大きなお金を使わず、皆にかんげん出来る事を考え、行動に表す、そして未来に向かっていく、前向きな考えが必要と想う。(男性,70 歳以上)
- 子どもから高齢者までもが、自助、公助、共助の助け合いで、温もりある地域づくりをしてほしいです。(女性,40 歳代)
- 仕事、福祉、子ども、暮らし、住みやすい地域づくりにもっと力を入れていってほしい。若い人興味もてるまちづくりをお願いしたいです。(男性,60 歳代)
- 財政の健全化(男性,50 歳代)
- 高校生、社会人、中年、シニアといろんな人の意見、願い事などに耳をかたむけて、新しく住みやすい町づくりを。ハイリスク、ハイリターンはつきものです(女性,70 歳以上)
- 後期高齢者にはデジタル化がむずかしいと思う(女性,70 歳以上)
- 月 2 回の広報誌等だけでは、町全体の情報を読みとることはできない。以前に比べ内容がうすく感じる。普段、仕事に勤務していると町での活動や何をされているか又若者たちの町づくりの意欲はどんなものなのかわからない、見えてこない。リーダー的存在を生み出すような、町づくり。この町が好きといわれる若者をふやしてほしい。仕事があり食べ物はおいしい子育てしやすいそんな町づくりを願っている。(女性,60 歳代)
- 共働き世代が増え、デジタル化の促進やクラブ活動の参加人数減少や高齢化に伴い、各地域活動に限界が生じてくるのではないかとと思っています。クリーン活動等もシニア世代の引退された方に有償で行ってもらえる等の活動があっても良いのではないかとと思う。動ける高齢者の活用が必須になると考えます。(男性,40 歳代)
- 議員の人数が多い。与謝野町は他より住民税が高いので安くしてほしい。どの庁舎でも何でも手続きが出来るようにしてほしい。車に乗れない年寄り(介護の手続き必要な)遠くまで行くのは大変。役場の職員さんが書類を届けたり(町舎～町舎へ)できないのか?(女性,60 歳代)
- 会社員で住民税を多く支払っている為、何かで返済しがある制度等、対策して頂ければ幸いです。(ふるさと納税とは別で)(男性,30 歳代)
- やっていることの発信と与謝野町だからこそできる取り組みをしてほしい。自分もできることから協力していきたいです。どうかよろしく願いいたします。(男性,30 歳代)
- もっともっと町民の意見を聞く必要がある。うわべだけでやっている感が強い(男性,60 歳代)
- もう少しイベントや事業をわかりやすくしてほしい。地元民ではないとわからないことが多すぎる。それこそ与謝野町の LINE をもっと一般にも活用したらどうか！ルールにしばられて小さな意見を聞いてくれない方もいます(女性,30 歳代)
- ふるさと納税の返礼品が欲しい物がなさすぎて、貢献できない。もっとお米や海鮮(干物とか)系など食べ物の方が嬉しい。あとは、織物はすてて、例えば、土地を生かして高級な果物栽培に力を入れてみたり、せっかく日本三景の近くなのに、宿がなさすぎるし、宿を増やして、その付近に土産屋の通りを作ったりすれば、修学旅行で来てもらえたり観光客に着物レンタルプランで着てもらって与謝野町のちりめんが大活躍できると思う。そうすれば、もっと働き口が増えて、若者も増えるし、与謝野町に住む人口も増えていく。
- あと、学童が人数制限で入れない子が困っているので、児童館を作っていつでも子が安心して集まれる場を提供してほしい。
- (女性,30 歳代)
- ふるさと納税、みりょくのあるものはないのか？与謝野町以外でふるさと納税をする人が増えと思うと不安。他の納税品をみるとしてみたいと思うが、与謝野町のことも考えるとふみだせない(女性,40 歳代)
- パートナーシップ制度を取り入れてほしいです。(男性,40 歳代)

- ド素人の主観的意見なので話半分に読んでください。そもそも与謝野町が今どのような政策をしているが不透明なので、政策について満足度を聞かれても答えようがない。不透明なのは僕だけかもしれないが、まず与謝野町が今どのような活動をしているかを有線テレビや回覧板だけでなく、様々な方法で発信するべきだ。正直、宮津市と合併してしまえばと思う。与謝野町に住む理由もなければ行く理由も無いように思える。伊根は舟屋、宮津は天橋立といった武器があるが、与謝野町には無い。ちりめん街道では絶対に勝てない。一般人から見て京都市内の街並みなどの下位互換でしかない。だから文化保全に使うお金をもう少し公共交通機関の充実に当てるべきだ。伊根と宮津の橋渡しとして活躍出来れば地域復興も見えるはずだ。(男性,15 歳~19 歳)
- どんなまちづくりをしているのか、全くわからない(女性,50 歳代)
- どのようなまちづくりがされているのか全然わからない。みんなに何をしているのかわかるようにしてほしい(女性,60 歳代)
- デジタル化に関してわからない人もいるし、年よりさんには、わからない。みんなが新しい物に関してわかっていると思っている事を理解してほしい(女性,60 歳代)
- ケーブルテレビがあるのに、加悦 岩滝 野田川にどんな店があるのか?など 与謝野町の情報が全くわからない。もっと情報の発信をお願いしたい。もっと他地域のケーブルテレビの活用方法を学んでほしい。(男性,50 歳代)
- かかわっている人達だけが盛り上がっている気がします。与謝野町のやっていることを知らない人達が多い。一部地域に片寄っている。(女性,60 歳代)
- お互いに助け合う心。人格認め合う。優しい言葉。暴言を謹む。皆が気を付ければ素晴らしい町になれると思います。(女性,70 歳以上)
- 3 町合併して何年も経つのに、どの庁舎の窓口へ用事が有り行っても、尋ねに行った内容の回答が遅すぎるし態度が悪い職員が多すぎます。ワースト2の与謝野町を良い町にするためにはまず町会議員の態度半分の人がヤクザに見えます。また、トップの町長も、もっと与謝野町の今と未来の事を考えて行動してほしいです。(女性,60 歳代)
- 1 行政の進め方、町は京都府、国に対し、何を持って貢献するのか。2 高齢化社会、町は町内の高齢化の人数が増えるが今あるあらゆる課題をどう解決するのか。3 若者の町からの離脱をどう食い止めるか、都会への流出を防ぐための産業創出が見えない。(ほとんどの他の市町村も同じであるが)(男性,70 歳以上)
- ※新規事業の推進の為、手厚い対応。※住民と町の密な情報交換。※まちづくり活性化委員会(役場職員と住民代表)の立ち上げ。(男性,50 歳代)
- ・与謝野町で来客が訪れる阿蘇シーサイドパークが、草がたくさん生えていたりゴミが落ちていたり、周辺の道路が工事完了しないまま放置され、雑草が生えていたりする。これではまた来ようと思ってもらえないのではないか。・アンケートをすること自体は良いと思うが、文章に使われている言葉が一般市民からすると難しかったり、イメージを持ちにくかったりするものが多く、これではせっかくのアンケートの意味がないのではないか。・もっと一般市民の声を聞き入れ、住みやすく、何回でも来たいと思ってもらえるような地域をつくってほしいです。(女性,20 歳代)
- ・デジタル化も良いが年寄・弱者にやさしい行政機関であってほしい。・人と顔の見える、人情のある役場がいいです。(男性,70 歳以上)
- 「地域コミュニティ活動が盛んである」ことは良いかもしれませんが、地元自治会等の役員の負担が重荷になりつつあると思います。活動の選択と集中が大切だと思います。(男性,60 歳代)
- 住民第1で考えてほしい。今迄でやってうまくいっていないのだから反対から考えてほしい。(男性,70 歳以上)
- 町の LINE があるのであれば回覧板の廃止をすべきではと思います。(男性,60 歳代)

【その他】

- R8年4月選挙新しい町長に期待(男性,70 歳以上)
- 80 才すぎて、働く道がない(女性,70 歳以上)
- あまり何もほとんど参加していません。すみません。(女性,50 歳代)

- クアハウスの値段が高く、利用しづらい。気軽に行けるようにしてほしい（男性,30 歳代）
- コンビニ交付サービスが使える前、HP や SNS 等に「使えないこと」が記載されていなかった。こういう重要なことは HP や SNS とうで必ず展開してください。今後はよろしくお願いします。（男性,20 歳代）
- タバコがコンビニの棚などにたくさんの種類のタバコが置いてあると思うんですけど、そこにココアシガレットもにおいて未成年がタバコを買いにきた際にしっかり注意してココアシガレットを買ってもらう（女性,15 歳～19 歳）
- とにかく町議員が老いすぎている。若い人が町議になりたいという気も起きない様ではますます老いた町になってしまう。町議員に定年が必要（男性,60 歳代）
- まちづくりについての情報提供がほとんどないのにアンケートを送ってこられても答えにくい（女性,50 歳代）
- 何しているか、よくわからない。（女性,30 歳代）
- 以前利用していたインターネット接続がお願いしたい。（男性,70 歳以上）
- 岩滝をもう少し良くしてほしい。野田川町,加悦町は岩滝を悪く言わないでほしい。（男性,70 歳以上）
- 旧三町の均一な発展（女性,60 歳代）
- 結果の出せる人が町長に、何年やってもダメな人はダメ、目標を立て出来なければ身を引くこと（それが良い町を作ることになる）（女性,70 歳以上）
- 工事が中途半端で終わっている箇所(道路)があり見苦しい。与謝野町長！イベントに参加されているようですが、高校生がふるさとを盛り上げようと一生懸命に考え活動している中、町長が来られた！と声をかけているのに見る事もなく話を聴く事ももちろんなく断るってどうなんでしょう！子どもはとても落ち込み町長の態度に怒っていました。与謝野町の上にたつ方がこのような態度では不安しかありません。アンケート以前の問題だと思います（女性,50 歳代）
- 高齢 94 才につき息子代筆。抽出先はもっと若い方にお願いします。（女性,70 歳以上）
- 高齢の為質問が理解できず回答が出来ない(曖昧)ところがありました。（男性,70 歳以上）
- 残り少ない人生、今後のことは若い世代にまかせたい。（女性,70 歳以上）
- 人口減少は、日本中、日本全体の問題なので、AI にまかせられる、国中から必要とされてるだろう大きな建物(国立図書館 etc、中きぼでいうと、オリンピック選手を出せる位の体育施設)等も予算があれば、できたらいいなと思う（男性,60 歳代）
- 町が実施されることに関心がないのでこの回答は除外してください。（男性,60 歳代）
- 町行政の情報は、「議会だより」が主で、近隣の人たちとの話題にもなりますが、不十分な認識での回答となりました。申し分けありません。「なぜ豊岡は世界に注目されるのか」という本を読んで感動しました。本町の町づくりにも通じるものがあるのではなどと比較しながら目を通しておりました。（男性,70 歳以上）
- 特にありません。背伸びせず、無理のない範囲のまちづくりをお願いします（女性,40 歳代）
- 与謝ですが、避難するのに小学校は遠いです。近くの集会所には水道が使えません。月に 5 回も使わないからだと思いますが、この様な毎日使わないものですが、公共のものだけに水道代も割引していただけないか（女性,70 歳以上）
- 野田川だけ色々な物をなくすのではなく、なくすなら同じように利用できる他の方法を考えてほしい。（女性,40 歳代）
- 問 13 について 与謝野町がどんな施策をされているか全く知らず、回答が難しかったです。旧野田川町の地域はこども園 庁舎などでも置いてきぼりのように感じます。（女性,60 歳代）
- 役場職員のサービスマナー研修を受けさせるべき、挨拶、接遇、社会人として？と感じる非常識人多すぎてイライラする。問 19 のような内容が進み人員整理されることを期待しています。（女性,40 歳代）
- 分からない事が多くあり不適切な解答で申し訳ございません（女性,70 歳以上）
- 役場の職員の数を減らし無駄遣いしないでほしい（男性,60 歳代）
- 役場に行っても職員の皆さんこちらから大きな声でこんにちわとあいさつしても声が返ってきません。まちづくりは、まずは明るく元気な職員のあいさつから…と思います。（男性,70 歳以上）

- 町会議員さんもっと活動をして下さい。先頭に立って町民の方々に協力を求めて下さい。公共施設などに見学して下さい。参加して下さい。町長さんにもお願いします。頑張っている所を見に来て下さい。町民の方は声を上げません、来て見て感じて下さい。小さな声（男性,70 歳以上）
- 私は左足のひざ下義足を付けていて野田川庁舎は私には駐車して歩く距離が長いので加悦庁舎で支払い色々行きやすく、冬でも雪かきしてなくて加悦に野田川在住の人が行くので遠すぎる改善して下さい（女性,40 歳代）
- 最近特に町議会で、クアハウス岩滝について議員さんがマイナス志向の批判ばかりで具体的な前向きな意見を述べられないのか大変遺憾に思います。町民人数も 5 年前比 5,000~6,000 人程度減に伴い、議員の削減についての議論が全く表面に見えないのは遺憾に思います。議員さんも経営術は長けている起業家ですので、方法等具体的な運用の仕方を意見として述べて頂きたいと思います。防災の観点からも現行施設は高台に位置し、津波時・地震その他の緊急避難場所としても有効活用が出来ると考えます。ちりめん街道～丹後ちりめん歴史館～クアハウス岩滝に繋がる観光拠点事業構想（民間活力を活かした事業）構築を図る等集客を目指す。今後先進地視察を検討されてみては？（クアハウス岩滝利用者と町議会議員さんとの施設のあり方や施設に必要な機能などを議論実施）、現在議会では、有線テレビで放映されていますが、平日昼間自宅でテレビ見られる方は幾ばかりか、現行 PC・スマホ・タブレット の時代ですので、与謝野町公式チャンネル You Tube 等で Live または即刻夜には配信をお願い致します。（男性,70 歳以上）
- 宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市全部で合併すれば良いと思う（男性,70 歳以上）
- マイナンバーカード出来るなら利用したくない（男性,70 歳以上）
- ・補助金還付に関して、町税納税証明の添付が必要となりましたが、主旨はわかりますが、税務課に行って証明を取りまた担当課まで出向かなければなりません。同意書が必要なら書きますので、手数料分は差引していただいて、役場で確認していただけませんか。（時間・燃料・危険度の軽減）・役場からの郵便物で、同日複数通届く場合があります。担当課は異なっていますが、今の時代ですので、庁内で配布先を共有できれば同一封筒にまとめて送ることが出来経費節約になるのでは？・お金がないに尽きるのでしょうか（予算は有効に使われているの？）、河川管理がもう少しできないでしょうか？草木は伸び放題国道沿いを流れる野田川は地方から来られる方も見えています。家で例えるならゴミ屋敷（与謝野）とみられているのでは…？
- ・若者が出ていく町にならないよう企業誘致（働く場所）それが無理なら近隣の企業で働く方に住んでいただける暮らしやすい町にしませんか？与謝野町の企業誘致は他の後を追うピントがずれた現町政では何期やっても無理と思います。ならば、そこに働く方を狙い撃つ施策を舞鶴・福知山・綾部・京丹後・豊岡までは 1 時間以内のベッドタウンはいかがでしょうか？（男性,60 歳代）